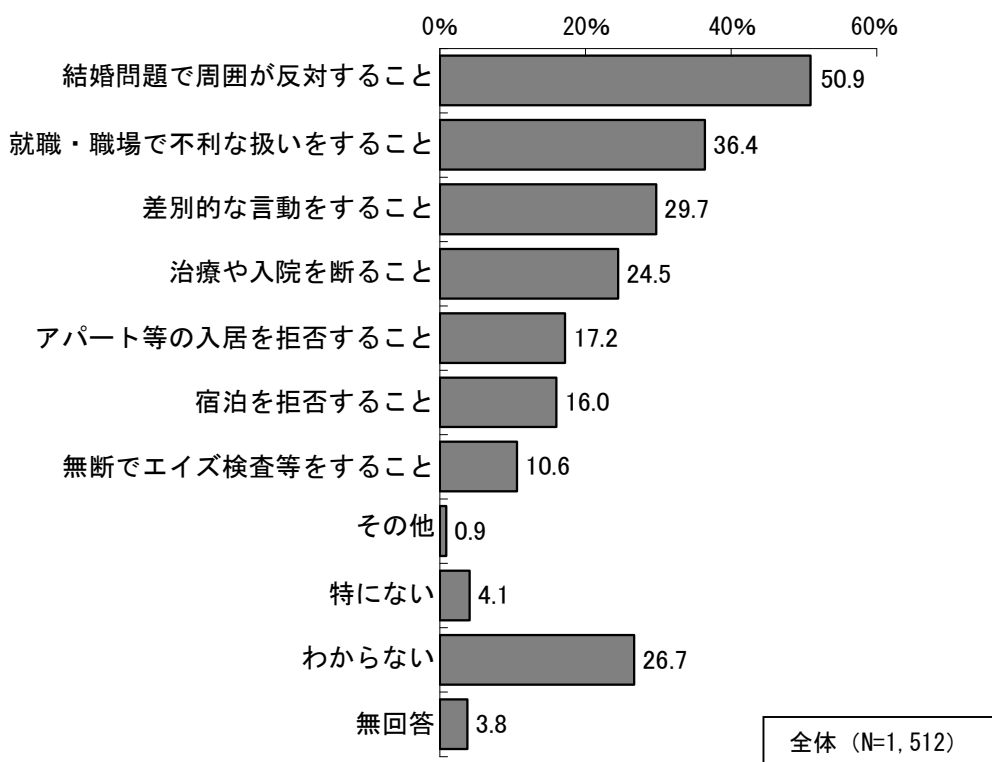


(10) HIV感染者等に関し、どのような問題が起きているか

問 19 あなたは、H I V（ヒト免疫不全ウイルス）感染者等に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。（✓はいくつでも）

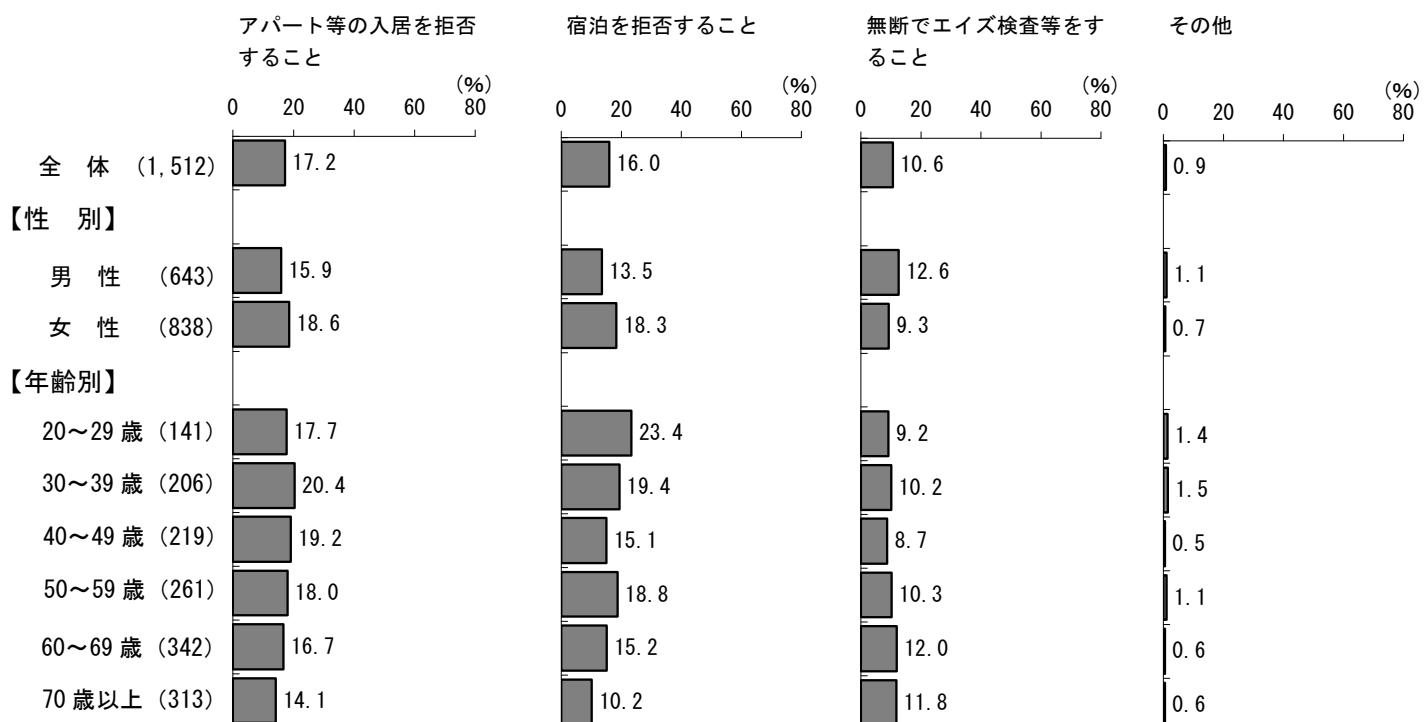
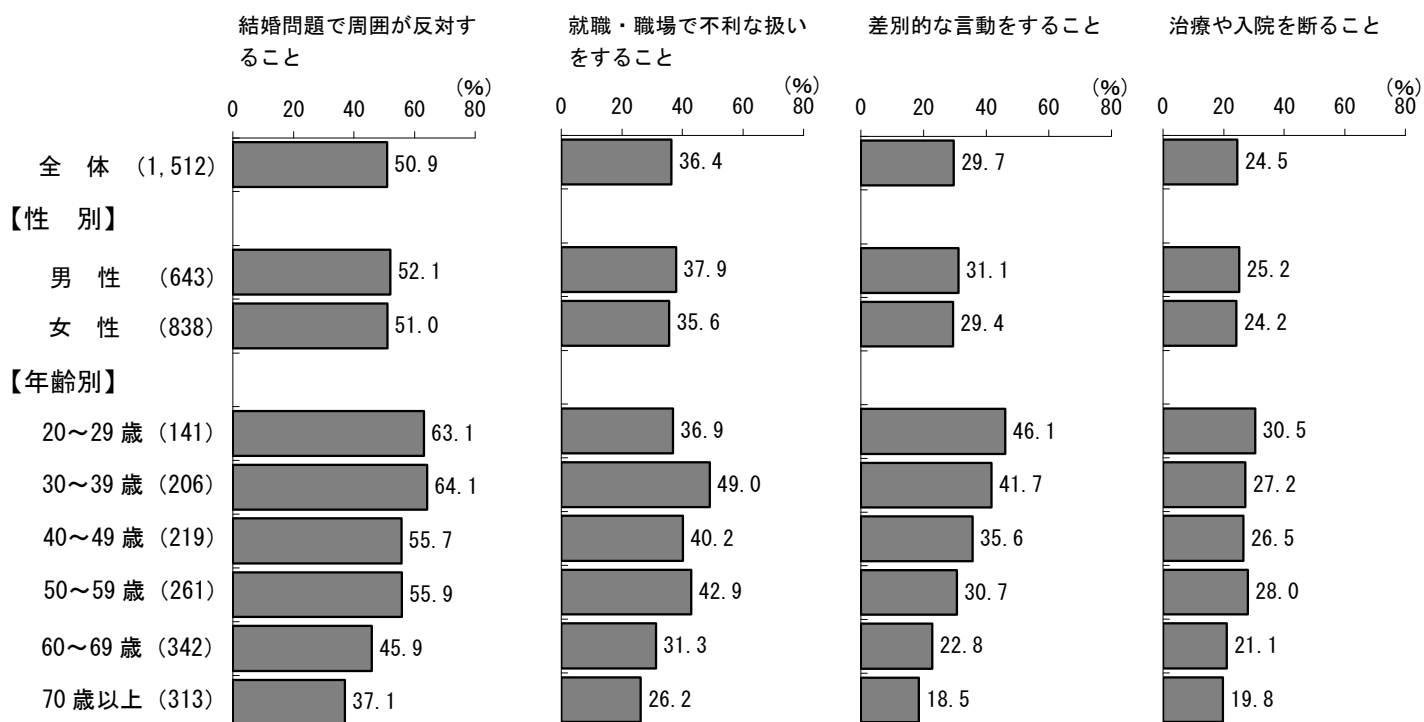
①図 24-1 H I V感染者等に関し、どのような問題が起きているか【全体】

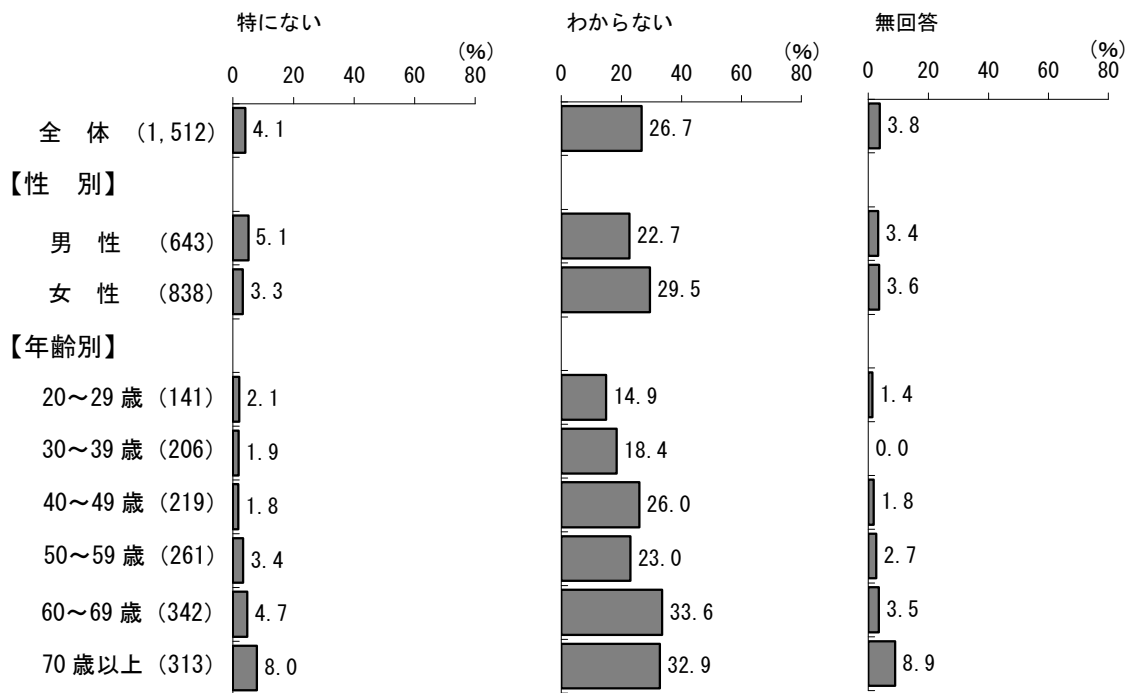


**H I V感染者等に関する人権問題について、「結婚問題で周囲が反対すること」が5割**

H I V感染者等に関し、どのような問題が起きているかについて、「結婚問題で周囲が反対すること」と回答した人の割合が 50.9%と最も高く、次いで「就職・職場で不利な扱いをすること」(36.4%)、「差別的な言動をすること」(29.7%)の順となっている。

②図 24-2 HIV感染者等に関し、どのような問題が起きているか【性別・年齢別】



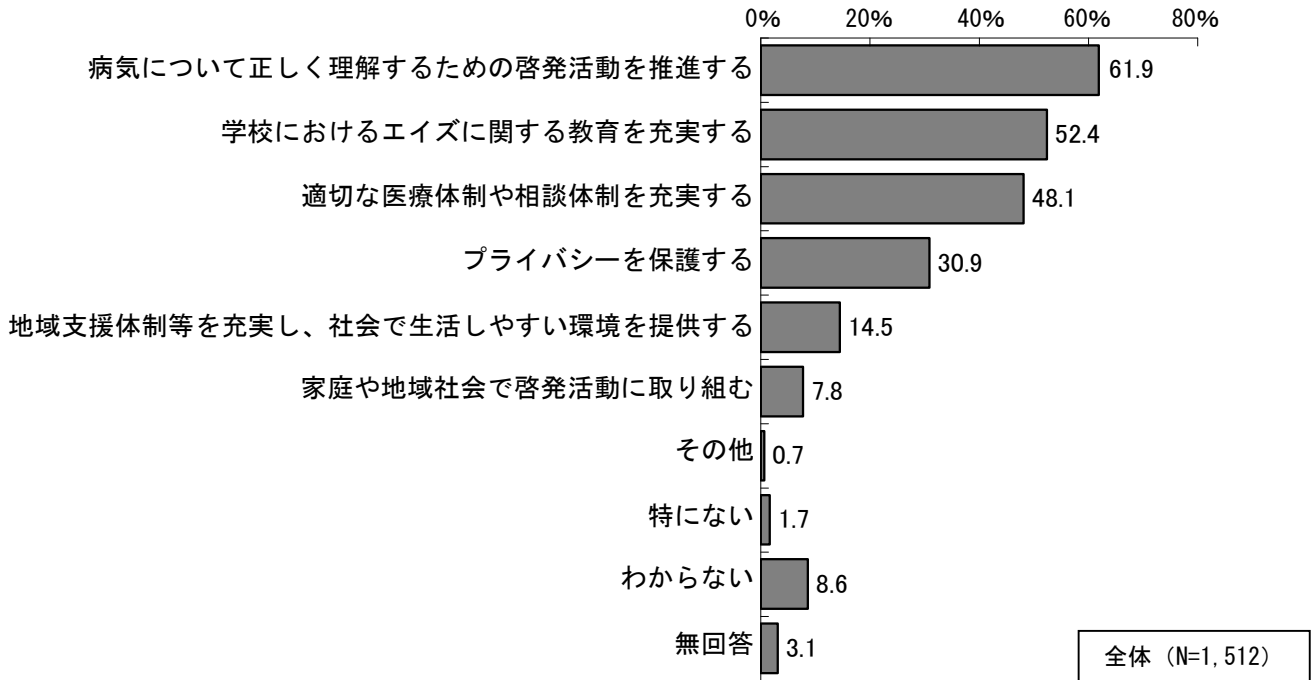


年齢別で比較すると、「結婚問題で周囲が反対すること」では20～39歳で回答した人の割合が6割を超え高くなっている。また「差別的な言動をすること」と回答した人の割合は、年齢が低くなるにつれて高くなっている。

ア HIV感染者等の人権を守るために必要なこと

問 20 HIV感染者等の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
(✓は3つまで)

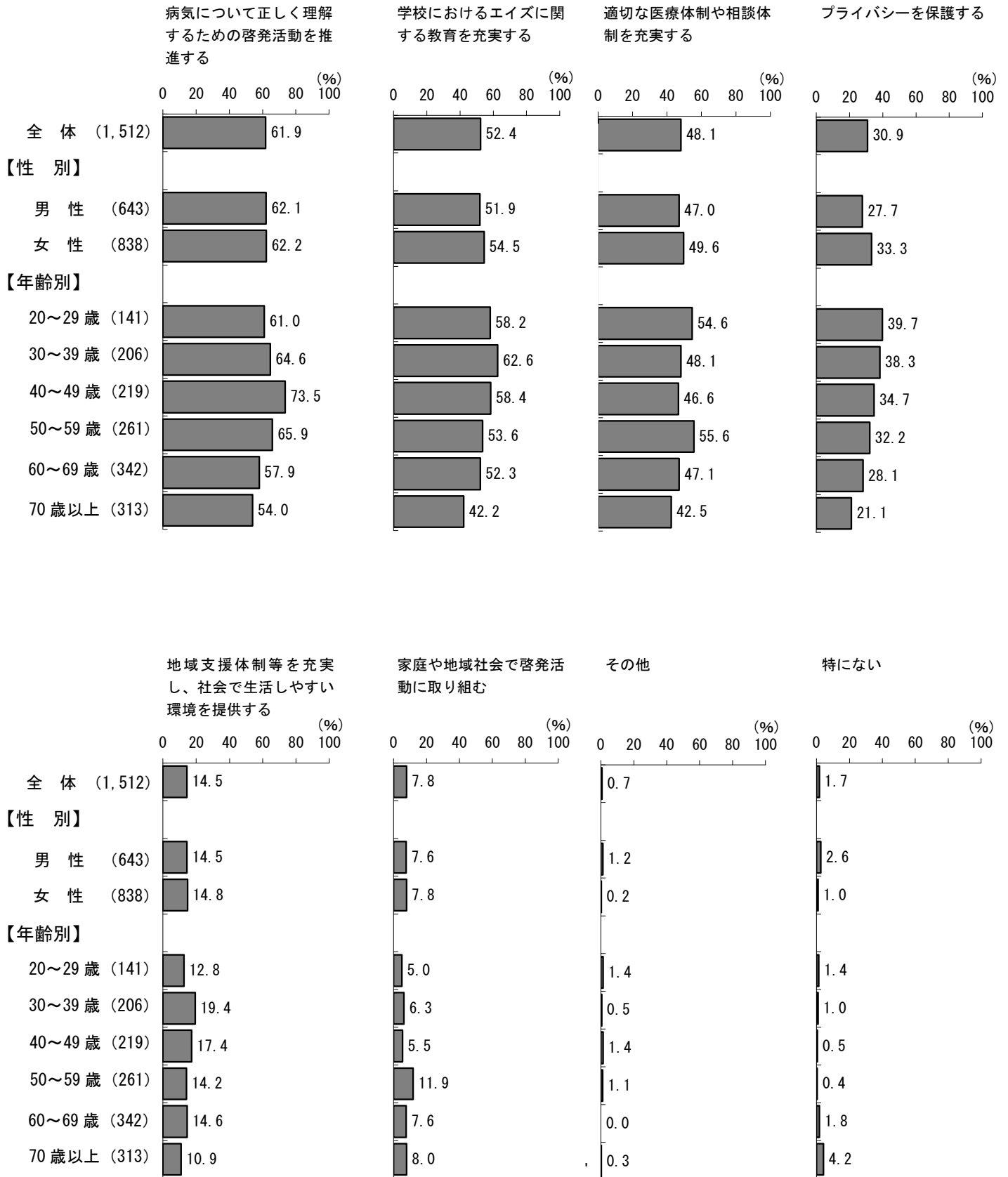
①図 25-1 HIV感染者等の人権を守るために必要なこと【全体】

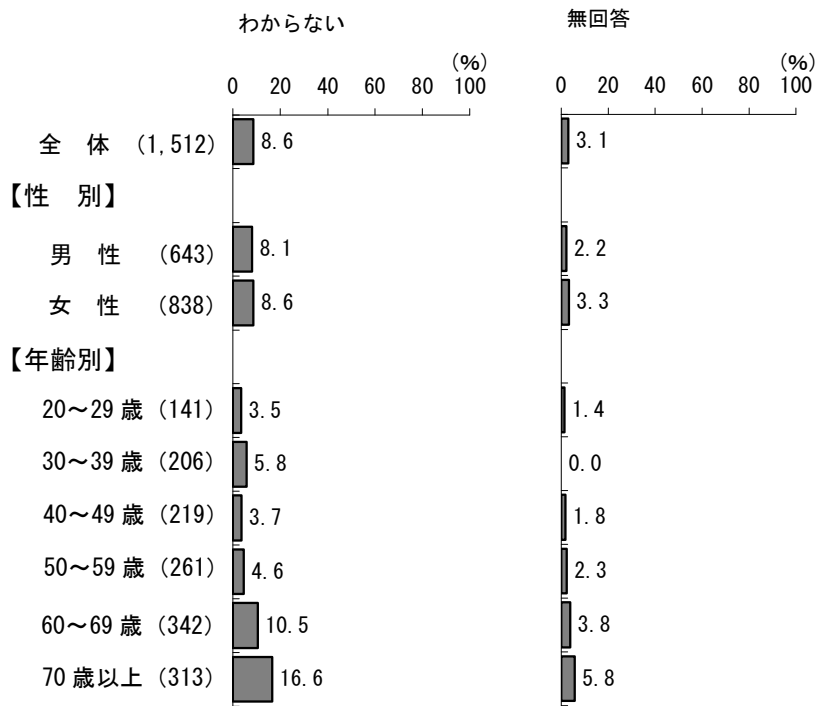


**HIV感染者等の人権が守られるために必要なことについて、「病気について正しく理解するための啓発活動を推進する」が6割**

HIV感染者等の人権を守るために必要なことについて、「病気について正しく理解するための啓発活動を推進する」と回答した人の割合が61.9%と最も高く、次いで「学校におけるエイズに関する教育を充実する」(52.4%)、「適切な医療体制や相談体制を充実する」(48.1%)の順となっている。

②図 25-2 HIV感染者等の人権を守るために必要なこと【性別・年齢別】



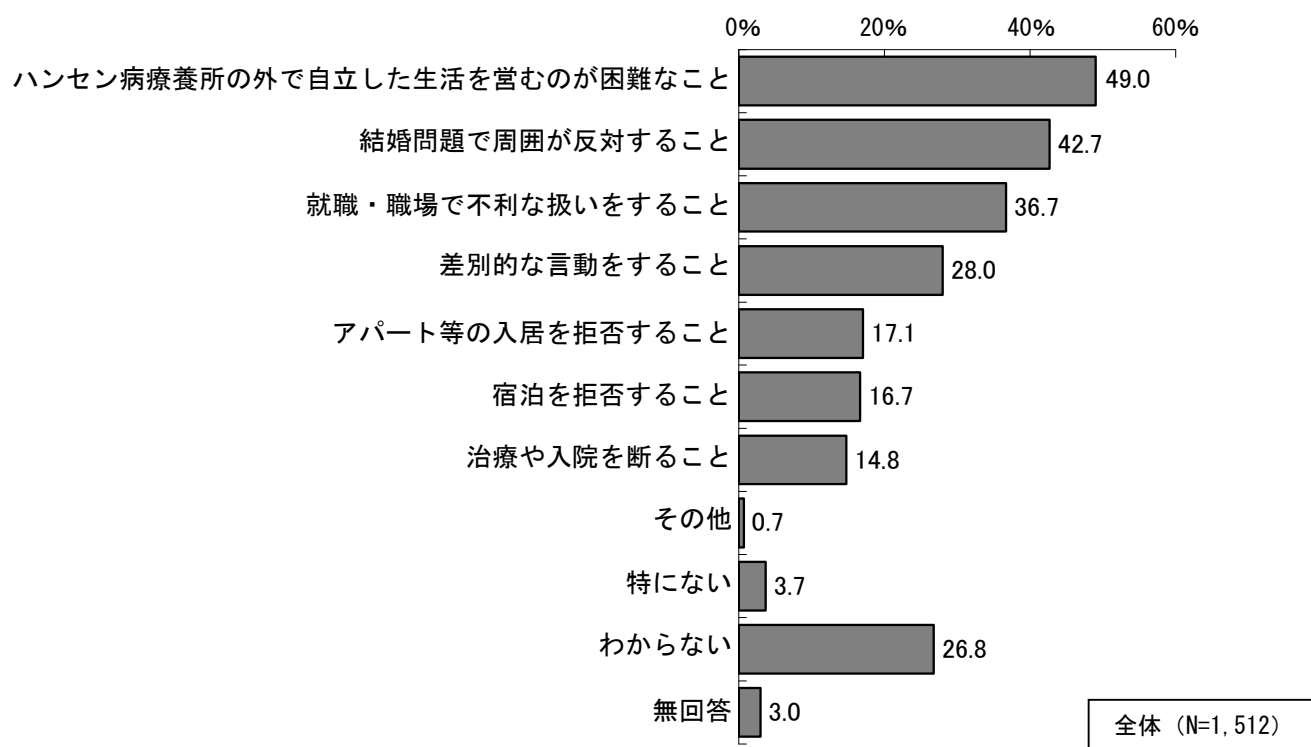


年齢別で比較すると、「病気について正しく理解するための啓発活動を推進する」では40～49歳で回答した人の割合が73.5%と高くなっている。また「プライバシーを保護する」と回答した人の割合は、年齢が低くなるにつれて高くなる傾向にある。

(11)ハンセン病患者・回復者と家族に関し、どのような問題が起きているか

問 21 あなたは、ハンセン病患者・回復者と家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。(✓はいくつでも)

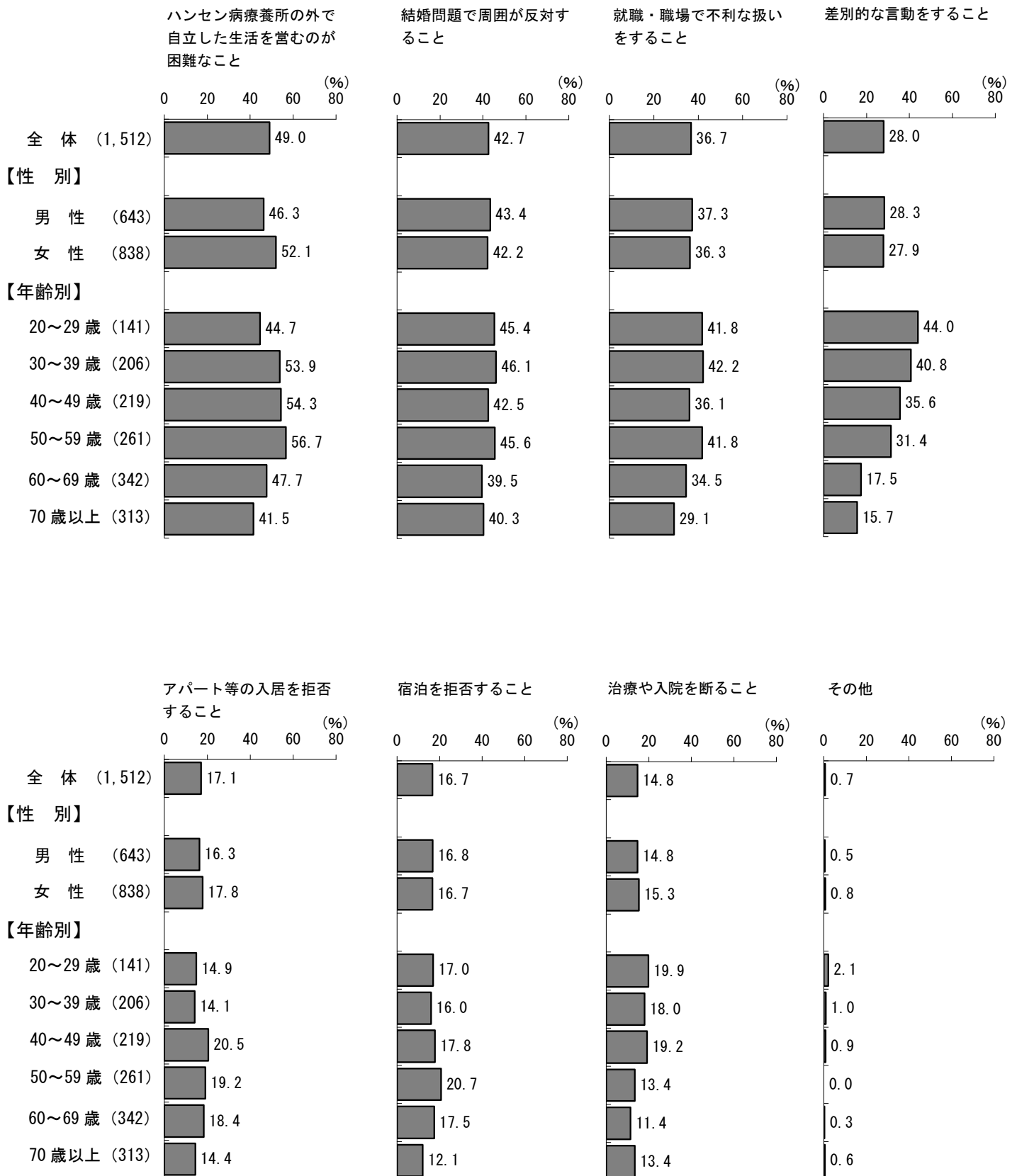
①図 26-1 ハンセン病患者・回復者と家族に関し、どのような問題が起きているか【全体】



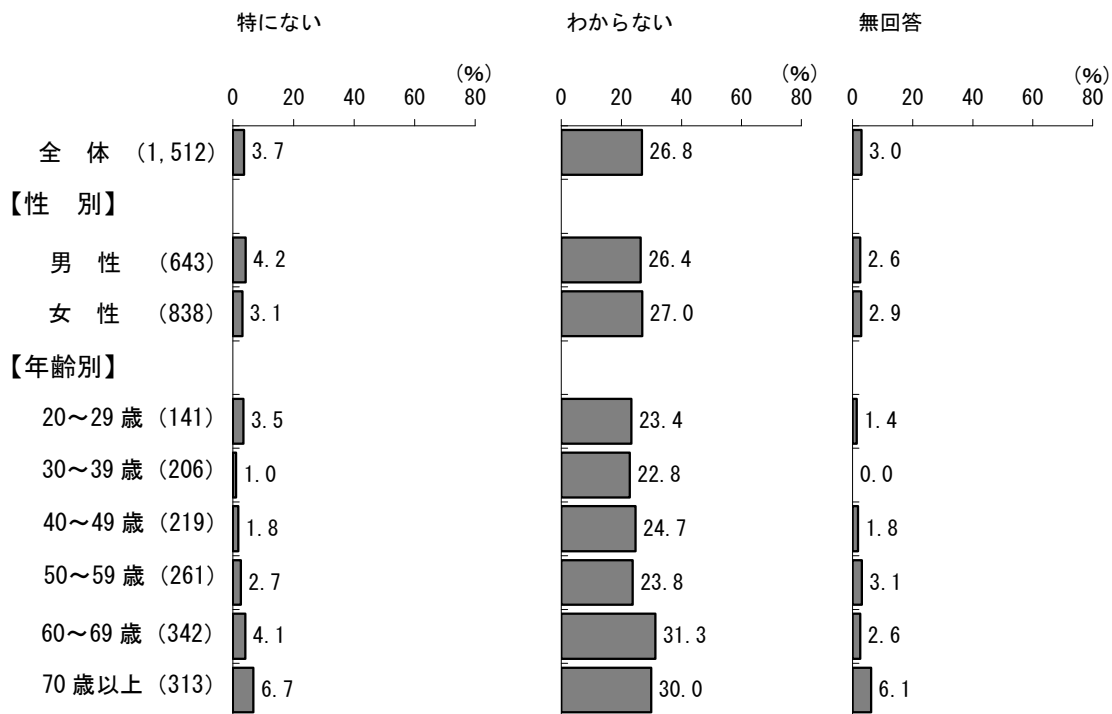
ハンセン病患者・回復者と家族に関する人権問題について、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと」が5割

ハンセン病患者・回復者と家族に関し、どのような問題が起きているかについて、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと」と回答した人の割合が49.0%と最も高く、次いで「結婚問題で周囲が反対すること」(42.7%)、「就職・職場で不利な扱いをすること」(36.7%)の順となっている。

②図 26-2 ハンセン病患者・回復者と家族に関し、どのような問題が起きているか【性別・年齢別】





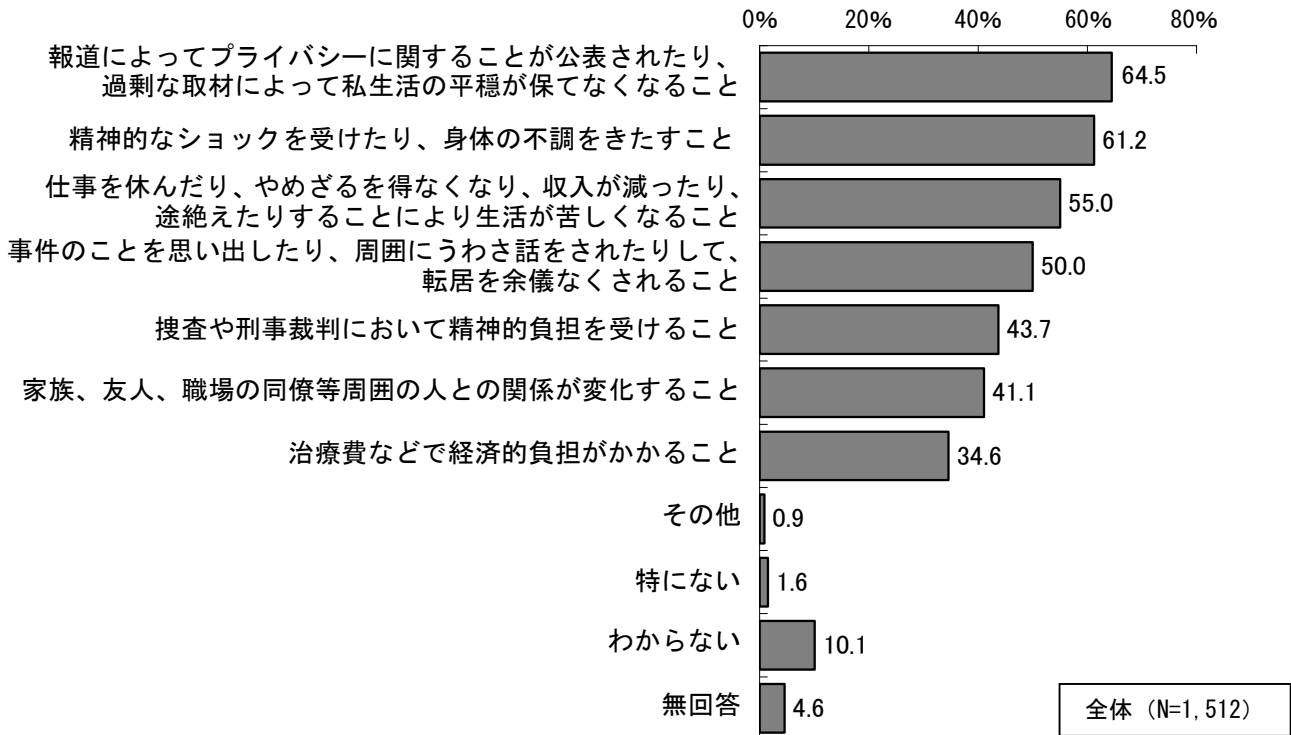


年齢別では、「差別的な言動をすること」と回答した人の割合は、年齢が低くなるにつれて高くなっている。

(12)犯罪被害者等に関し、どのような問題が起きているか

問 22 あなたは、犯罪被害者等に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。(✓はいくつでも)

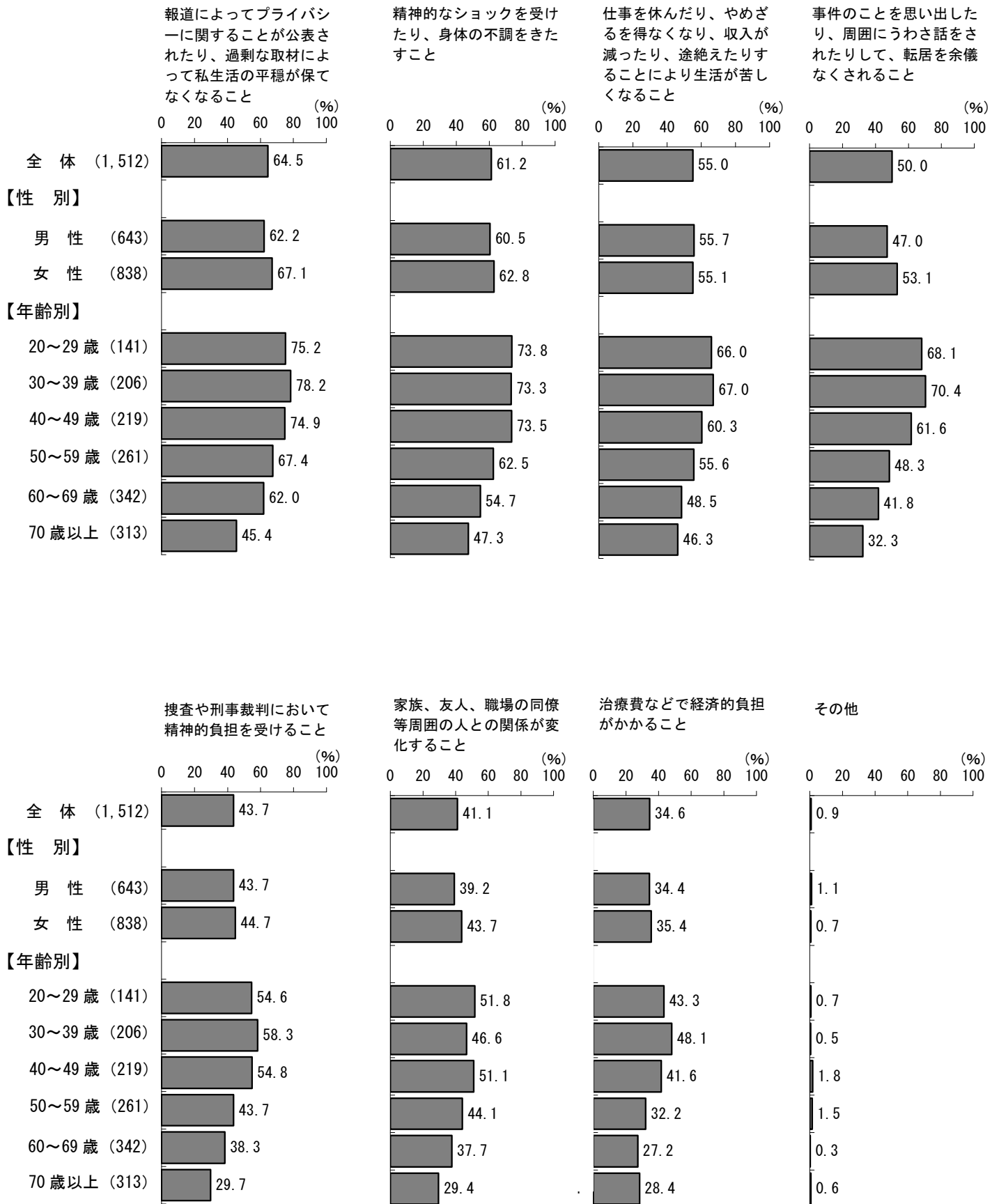
①図 27-1 犯罪被害者等に関し、どのような問題が起きているか【全体】

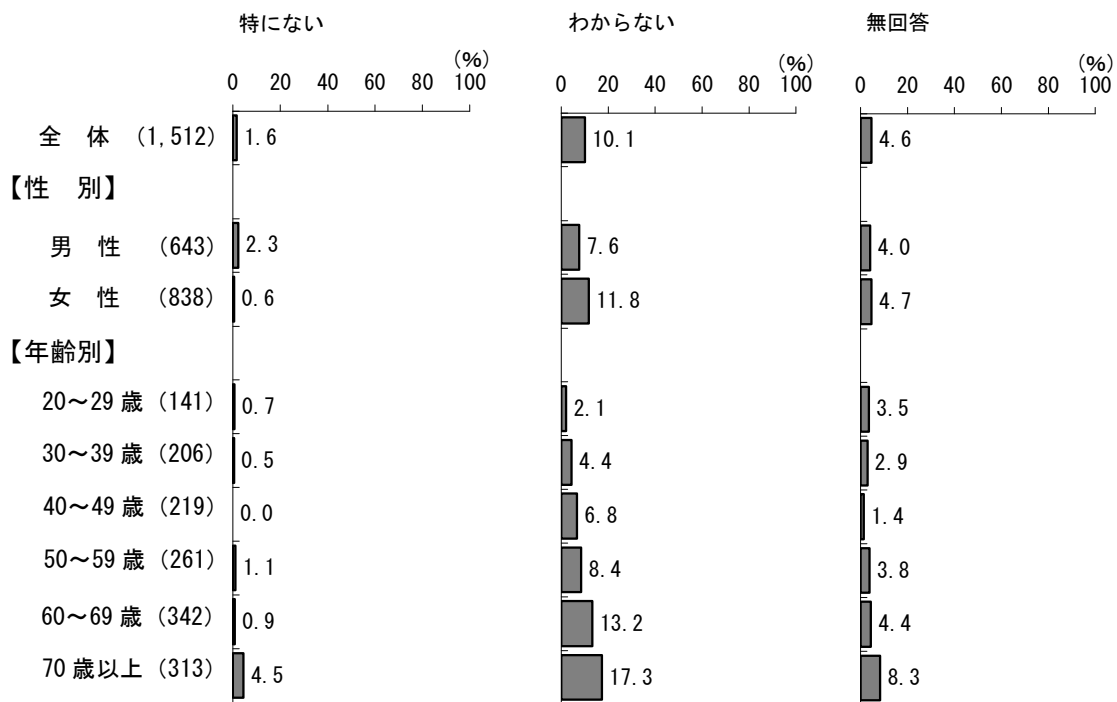


犯罪被害者等に関する人権問題について、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、過剰な取材によって私生活の平穩が保てなくなる」、「精神的なショックを受けたり、身体の不調をきたす」がともに6割以上

犯罪被害者等に関し、どのような問題が起きているかについて、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、過剰な取材によって私生活の平穩が保てなくなる」と回答した人の割合が64.5%と最も高く、次いで「精神的なショックを受けたり、身体の不調をきたすこと」(61.2%)、「仕事を休んだり、やめざるを得なくなり、収入が減ったり、途絶えたりすることにより生活が苦しくなること」(55.0%)の順となっている。

②図 27-2 犯罪被害者等に関し、どのような問題が起きているか【性別・年齢別】



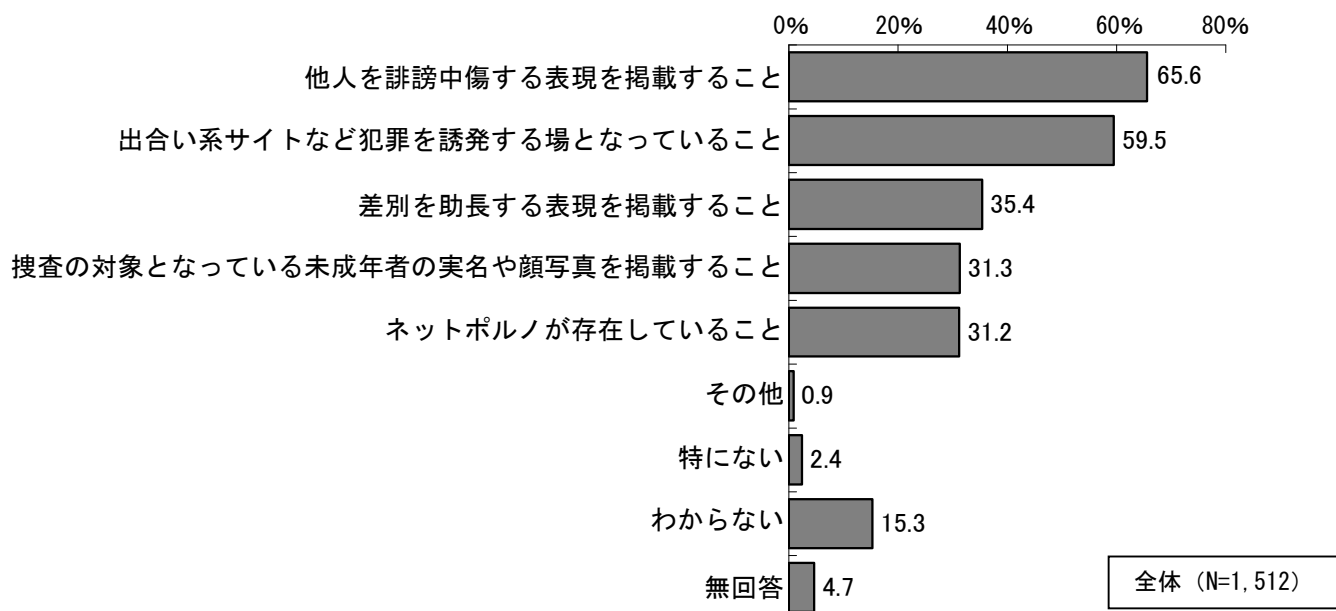


年齢別で比較すると、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、過剰な取材によって私生活の平穏が保てなくなること」、「精神的なショックを受けたり、身体の不調をきたすこと」では20～49歳で回答した人の割合が7割を超え高くなっている。

(13)インターネットによる人権侵害に関し、どのような問題が起きているか

問 23 あなたは、インターネットによる人権侵害に関し、現在、どのような問題が起きていると思いますか。(✓はいくつでも)

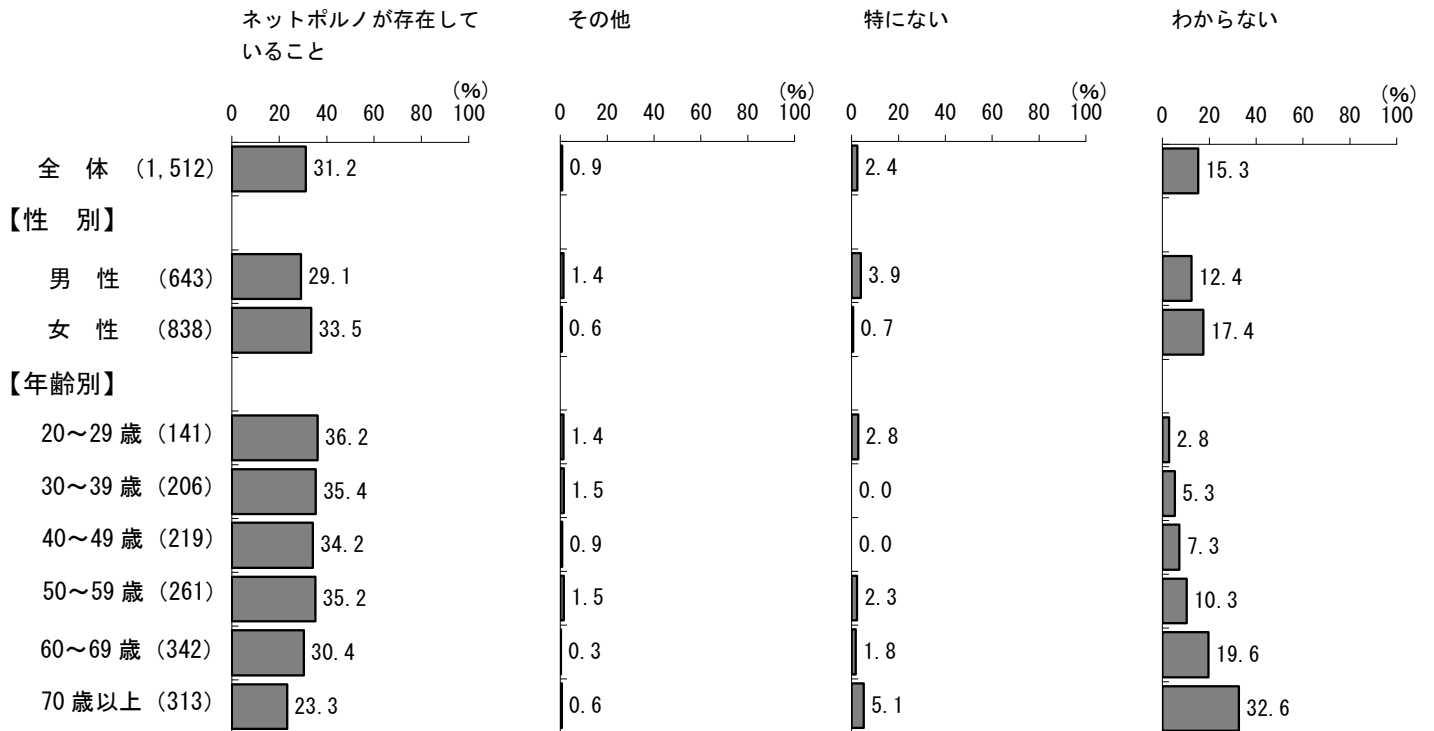
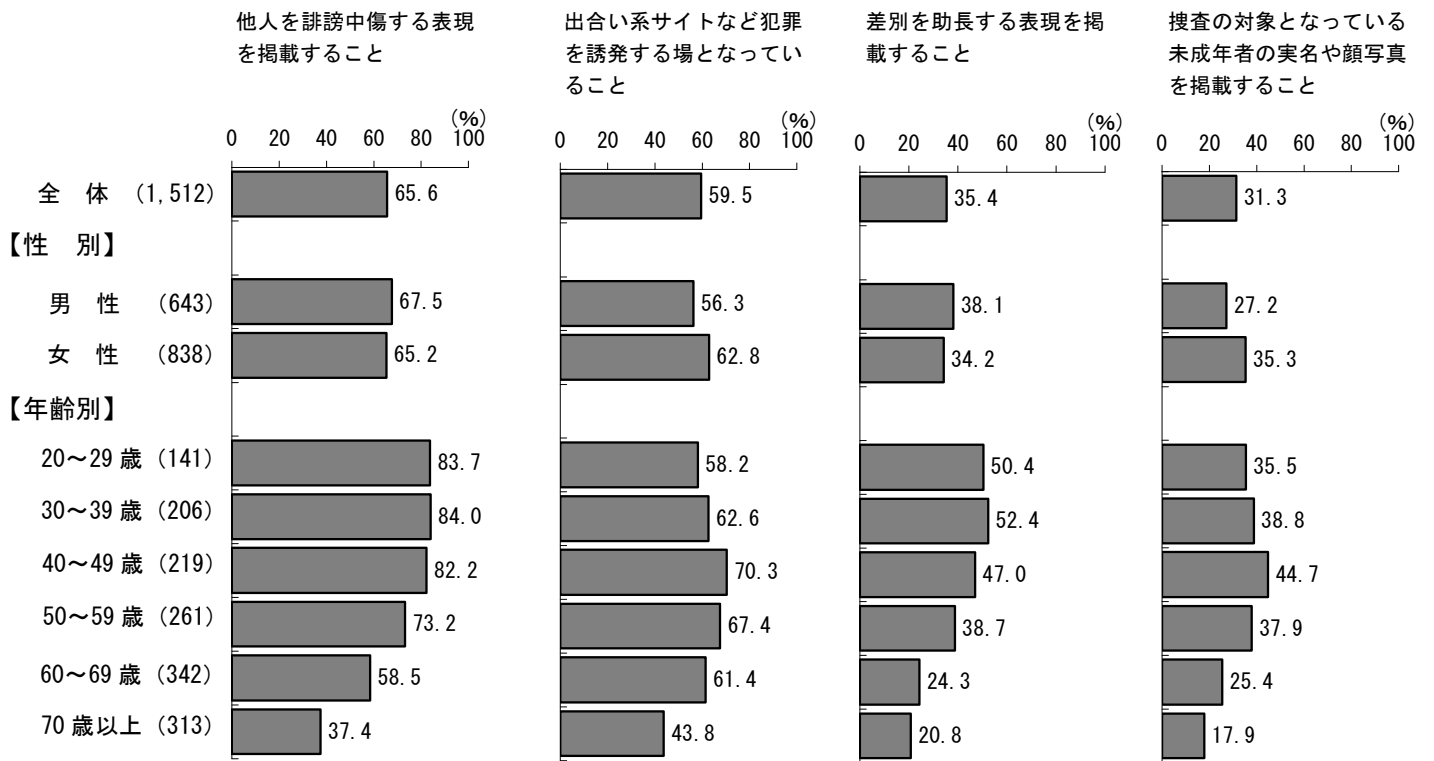
①図 28-1 インターネットによる人権侵害に関し、どのような問題が起きているか【全体】

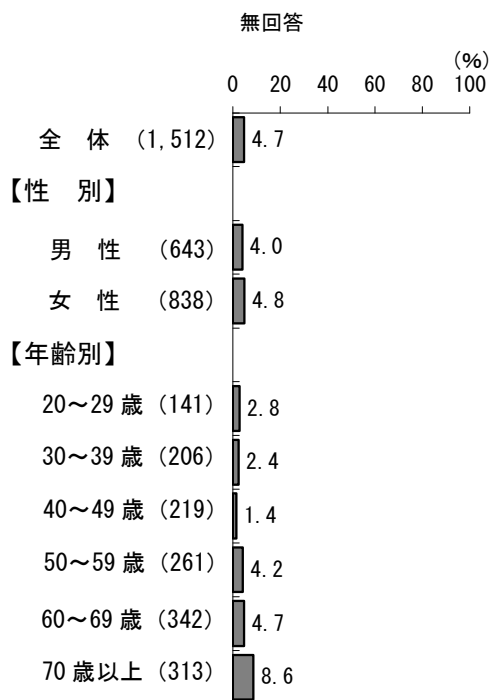


インターネットによる人権侵害に関する人権問題について、「他人を誹謗中傷する表現を掲載すること」が7割、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」が6割

インターネットによる人権侵害に関し、どのような問題が起きているかについて、「他人を誹謗中傷する表現を掲載すること」と回答した人の割合が65.6%と最も高く、次いで「出会い系サイトなど犯罪が誘発する場となっていること」(59.5%)、「差別を助長する表現を掲載すること」(35.4%)の順となっている。

②図 28-2 インターネットによる人権侵害に関し、どのような問題が起きているか【性別・年齢別】





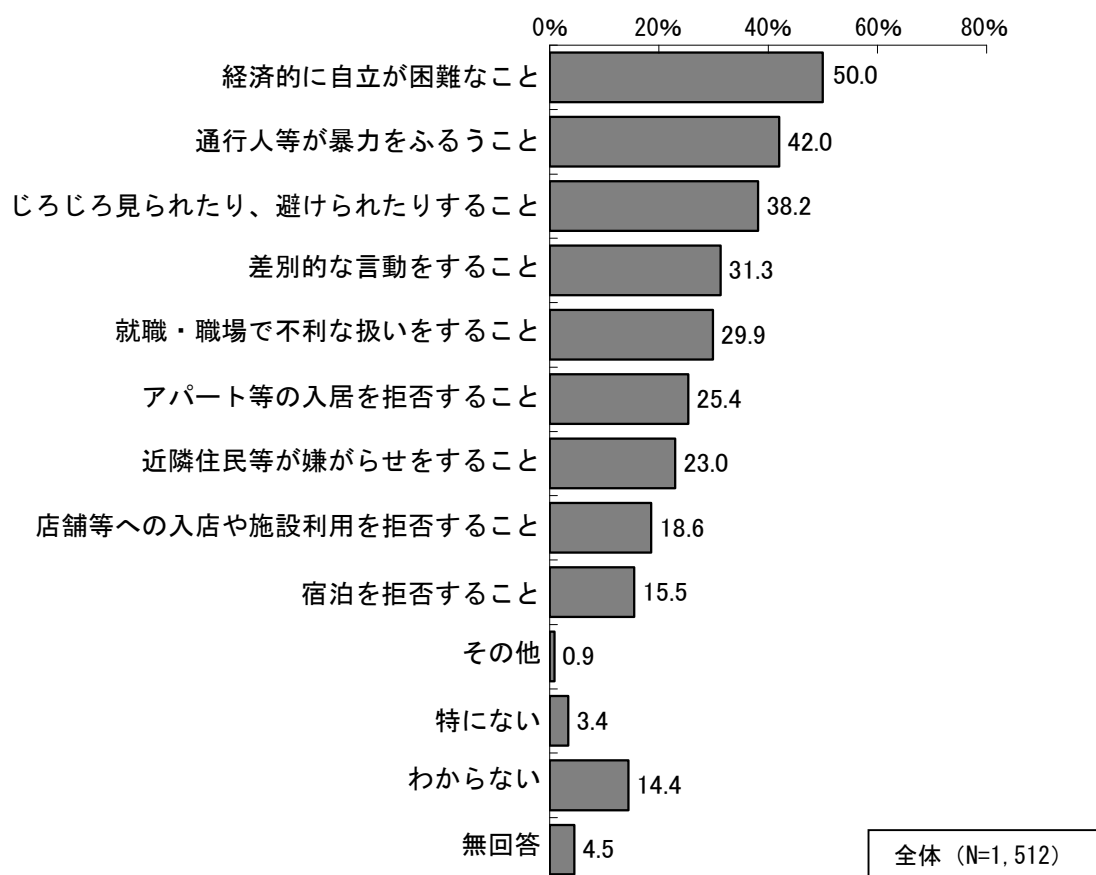
性別で比較すると、女性の方が「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」(62.8%)、「捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること」(35.3%)と回答した人の割合が、男性の56.3%、27.2%と比べて高くなっている。

年齢別で比較すると、「他人を誹謗中傷する表現を掲載すること」では20～49歳で回答した人の割合が8割を超え高くなっている。

(14)ホームレスに関し、どのような問題が起きているか

問 24 あなたは、ホームレスに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。  
(✓はいくつでも)

①図 29-1 ホームレスに関し、どのような問題が起きているか【全体】

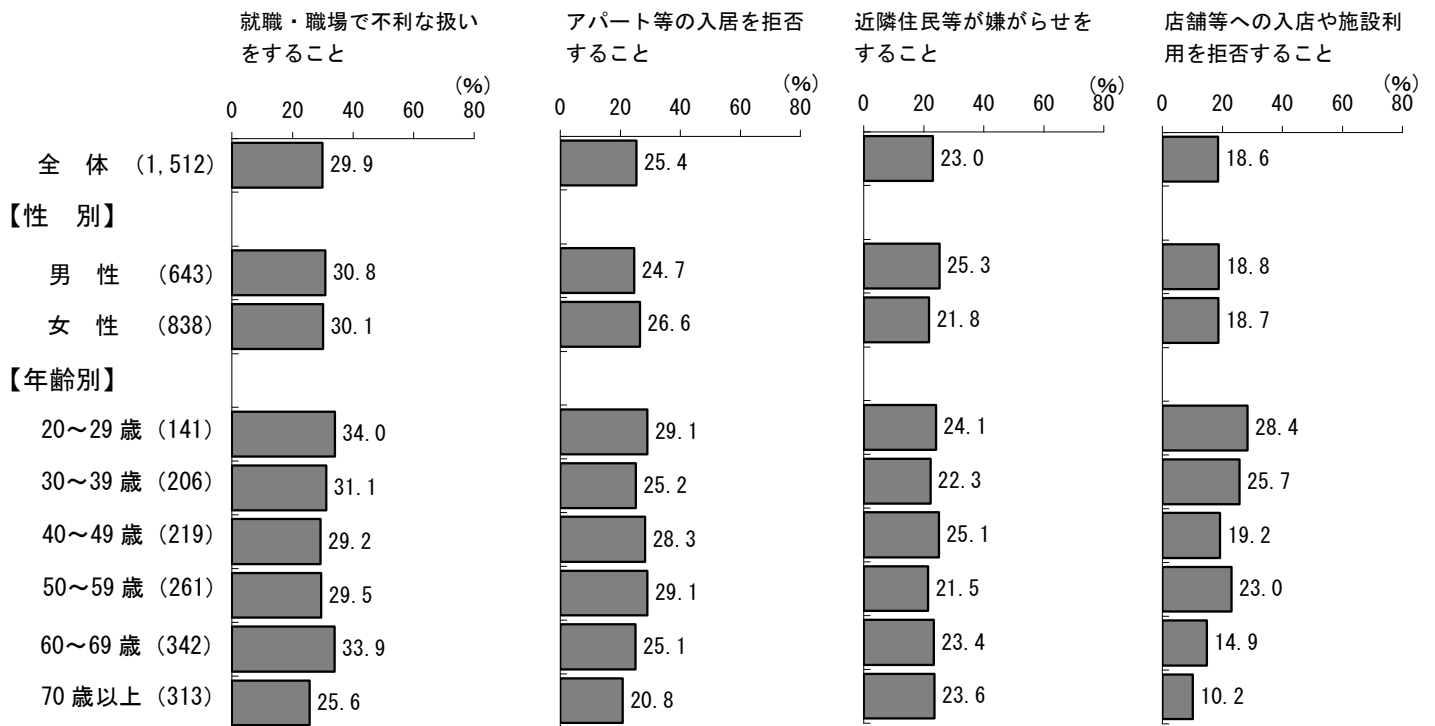
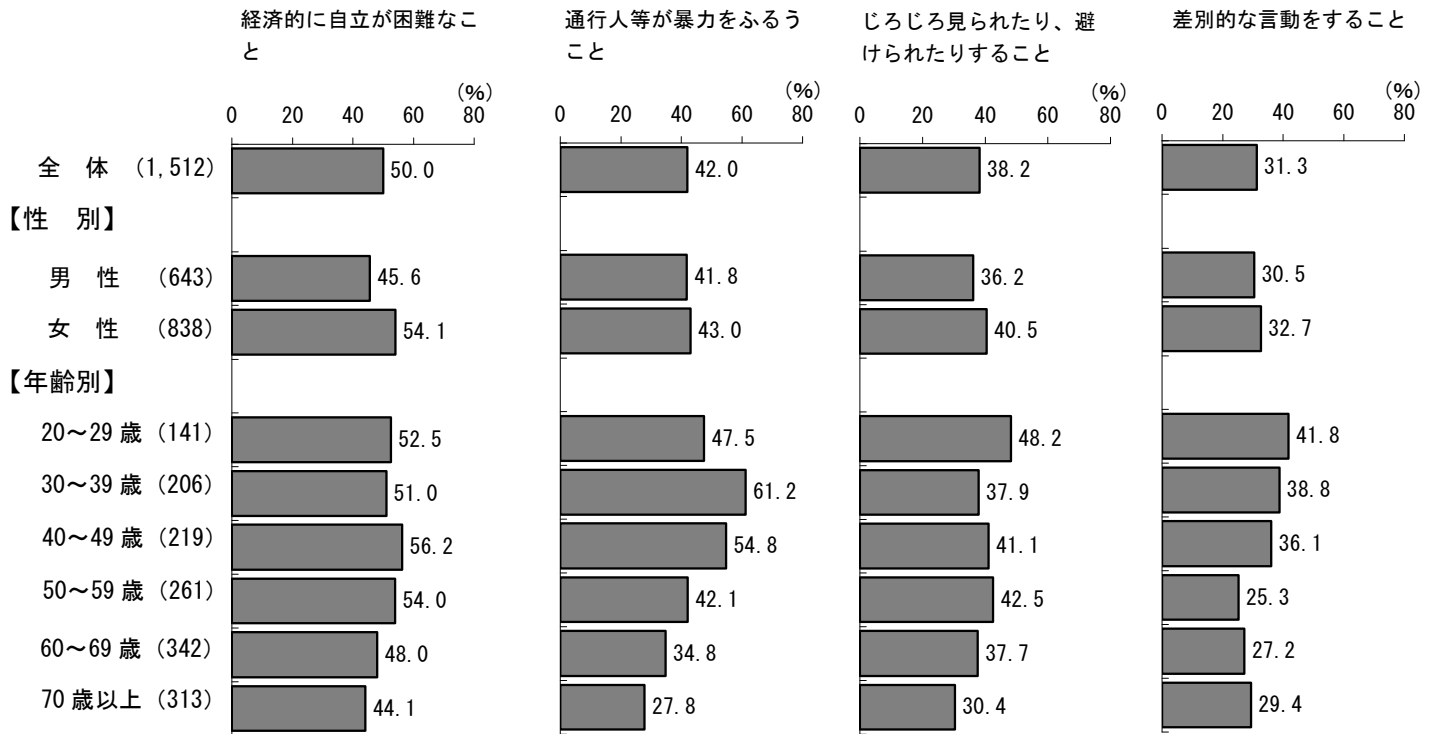


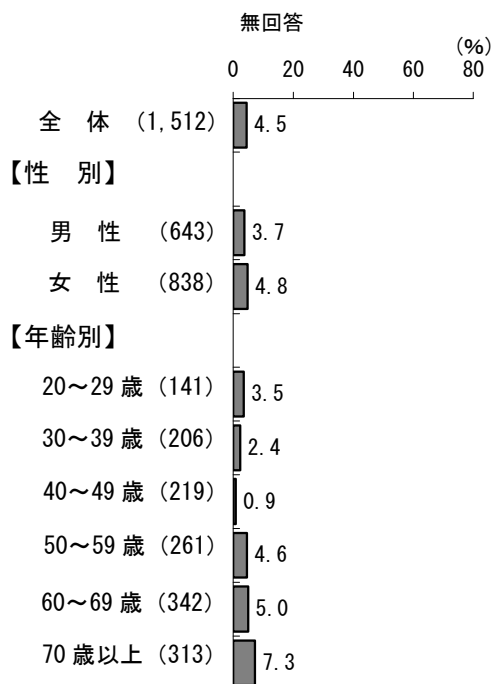
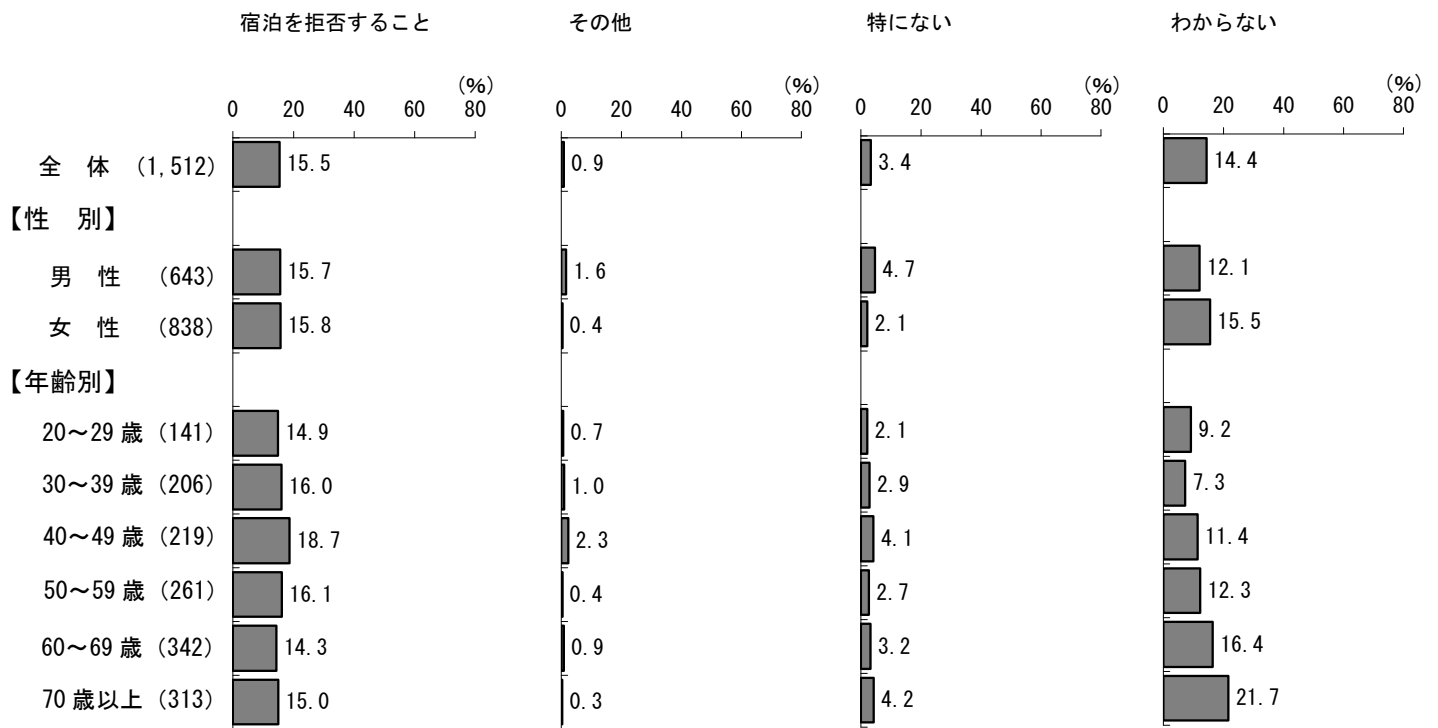
ホームレスに関する人権問題について、「経済的に自立が困難なこと」が5割

ホームレスに関し、どのような問題が起きているかについて、「経済的に自立が困難なこと」と回答した人の割合が50.0%と最も高く、次いで「通行人等が暴力をふるうこと」(42.0%)、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(38.2%)の順となっている。



②図 29-2 ホームレスに関し、どのような問題が起きているか【性別・年齢別】





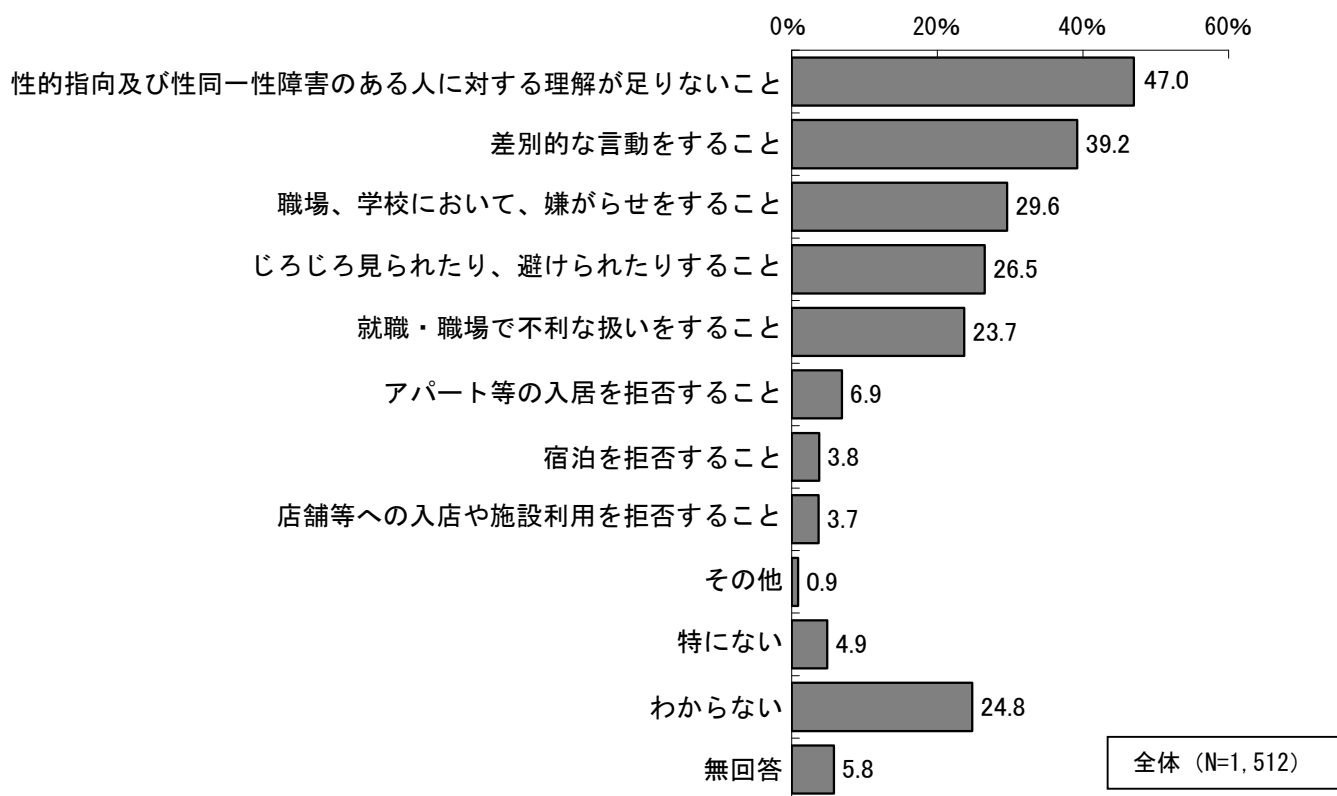
性別で比較すると、女性の方が「経済的に自立が困難なこと」と回答した人の割合が 54.1%と、男性の 45.6%と比べて高くなっている。

年齢別で比較すると、「通行人が暴力をふるうこと」では 30～39歳で回答した人の割合が 61.2%と高くなっている。

(15) 性的指向、性同一性障害に関し、どのような問題が起きているか

問 25 あなたは、性的指向（異性愛、同性愛、両性愛）及び性同一性障害のある人（生物学的な性ところの性が一致しない人）に関し、どのような人権問題が起きていると思いますか。（✓はいくつでも）

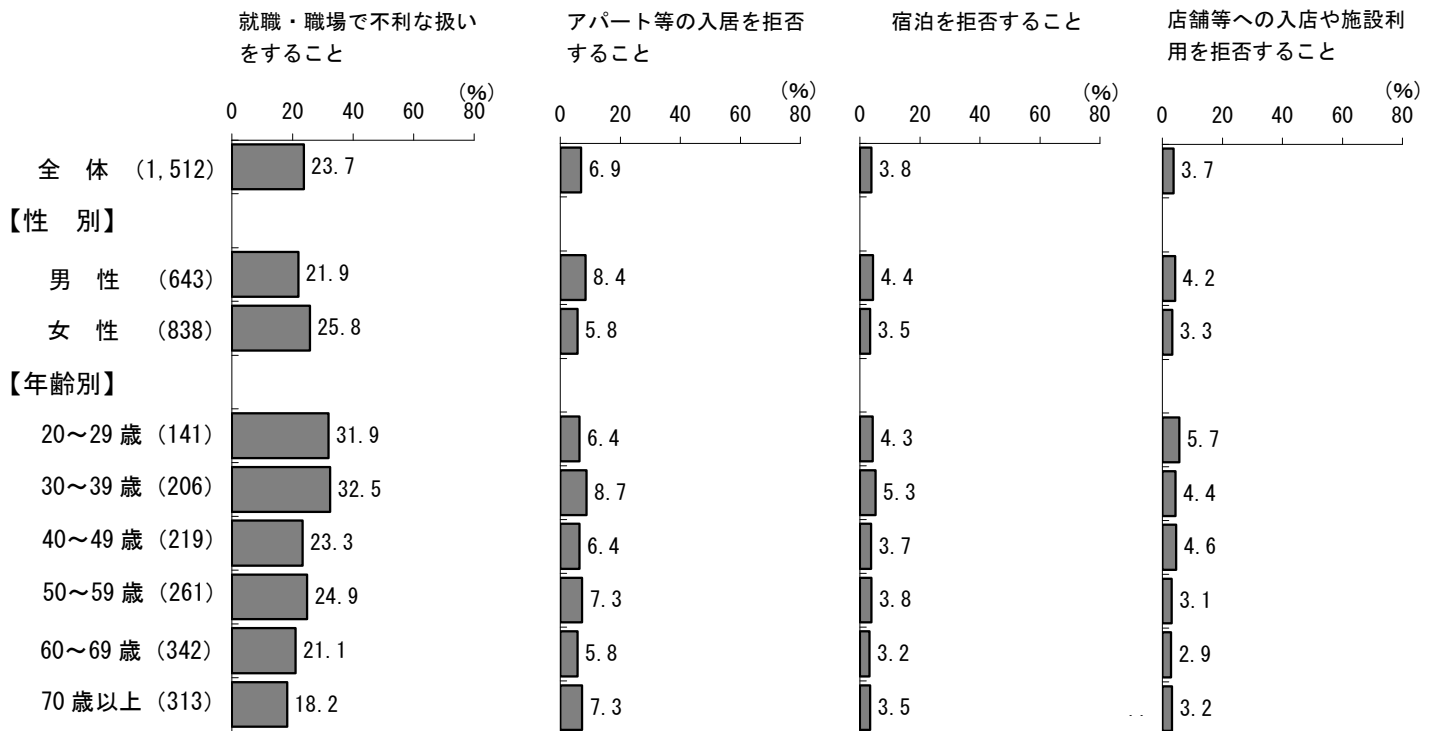
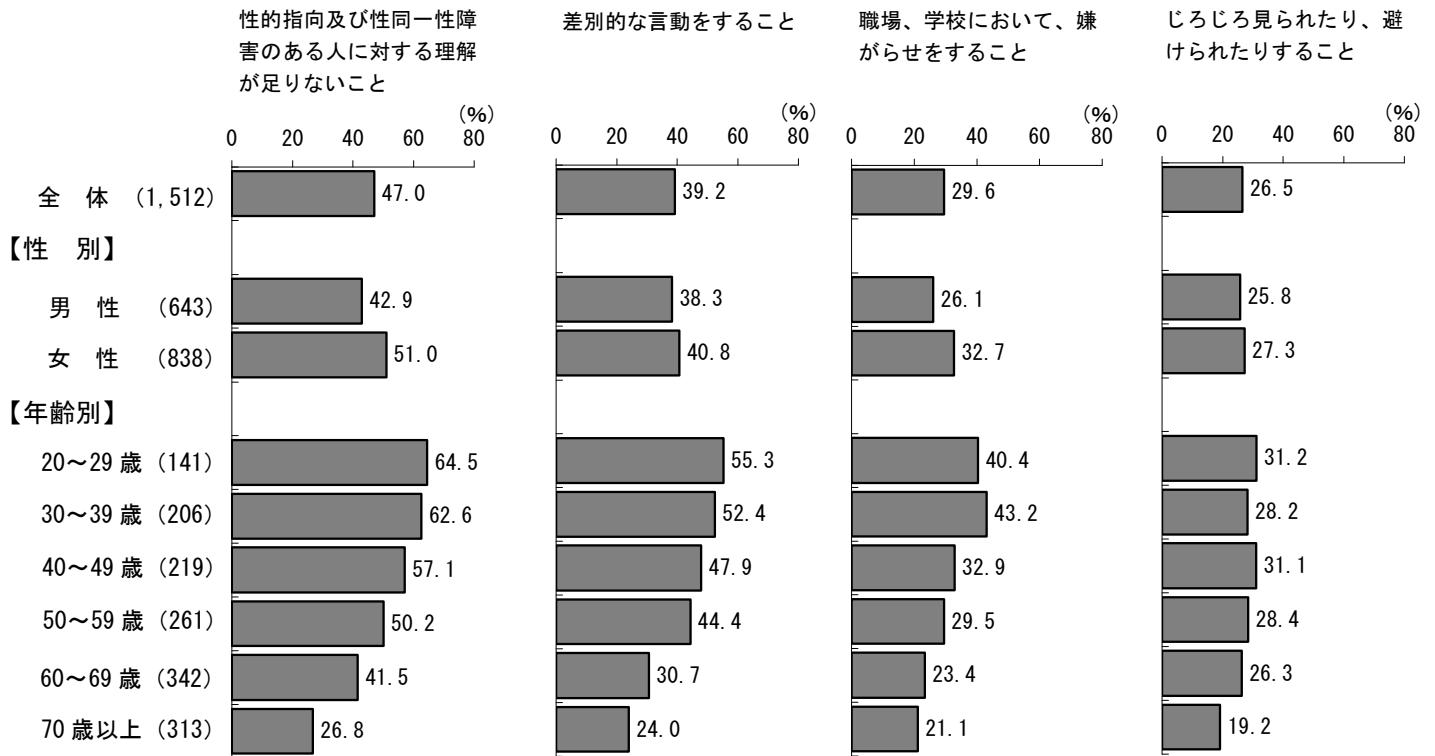
①図 30-1 性的指向、性同一性障害に関し、どのような問題が起きているか【全体】

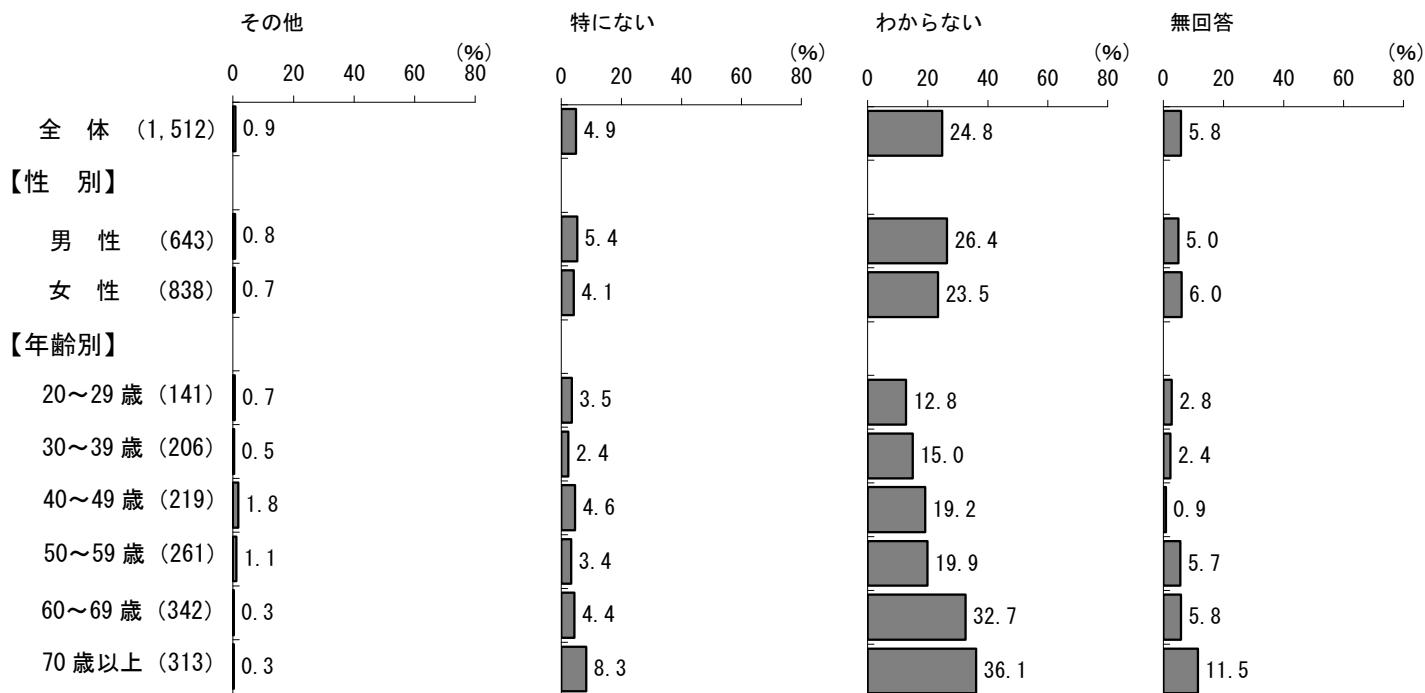


**性的指向、性同一性障害に関する人権問題について、「性的指向及び性同一性障害のある人に対する理解が足りないこと」が5割**

性的指向（異性愛、同性愛、両性愛）及び性同一性障害のある人（生物学的な性ところの性が一致しない人）に関し、どのような人権問題が起きているかについて、「性的指向及び性同一性障害のある人に対する理解が足りないこと」と回答した人の割合が 47.0%と最も高く、次いで「差別的な言動をすること」(39.2%)、「職場、学校において、嫌がらせをすること」(29.6%)の順となっている。

②図 30-2 性的指向、性同一性障害に関し、どのような問題が起きているか【性別・年齢別】





性別で比較すると、女性の方が「性的指向及び性同一性障害のある人に対する理解が足りないこと」(51.0%)、「職場、学校において、嫌がらせをすること」(32.7%)と回答した人の割合が、男性の42.9%、26.1%と比べて高くなっている。

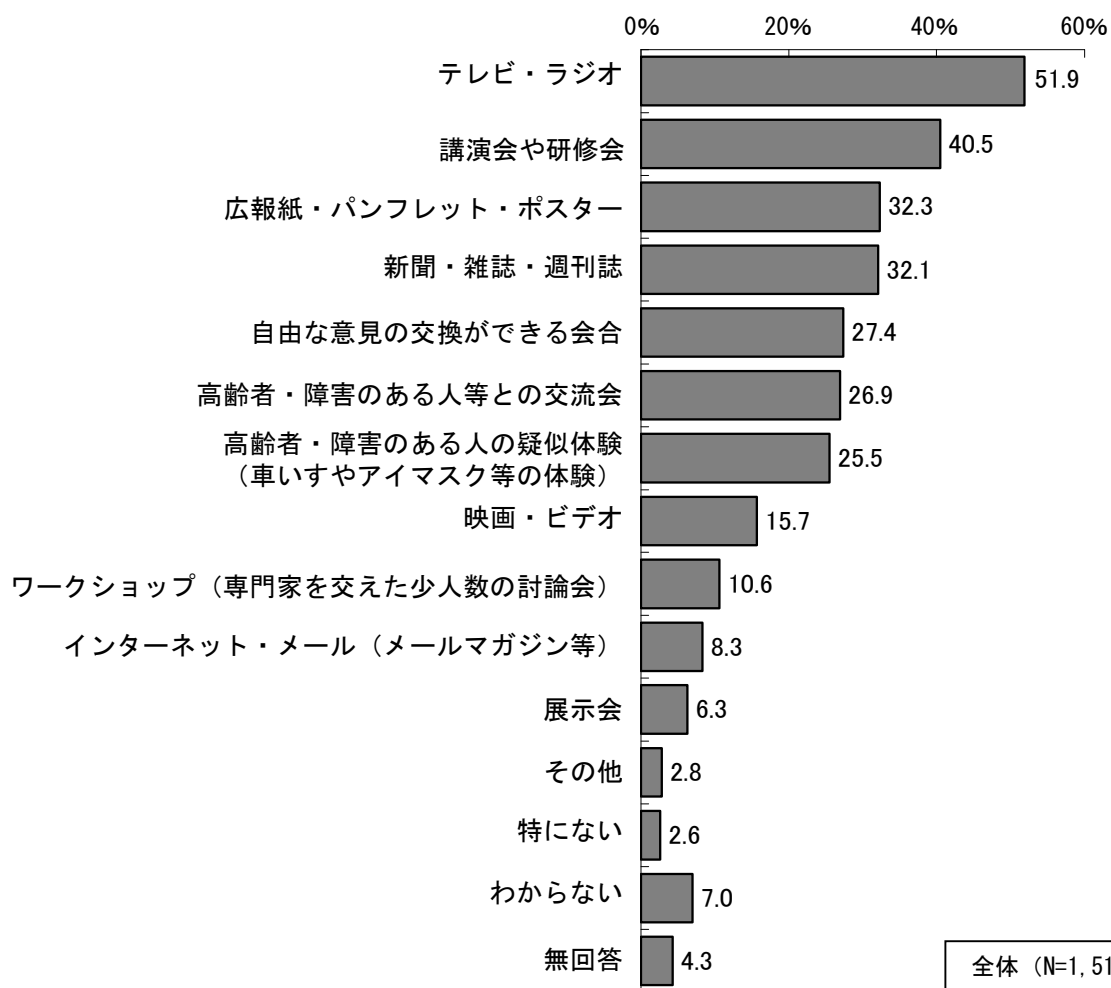
年齢別で比較すると、「性的指向及び性同一性障害のある人に対する理解が足りないこと」、「差別的な言動をすること」と回答した人の割合が、年齢が低くなるにつれて高くなっている。

### 3 人権課題の解決のための方策について

#### (1) どのような啓発活動が効果的と思うか

問 26 あなたは、人権啓発を推進するためには、県民に対してどのような啓発広報活動が効果的だと思いますか。(✓はいくつでも)

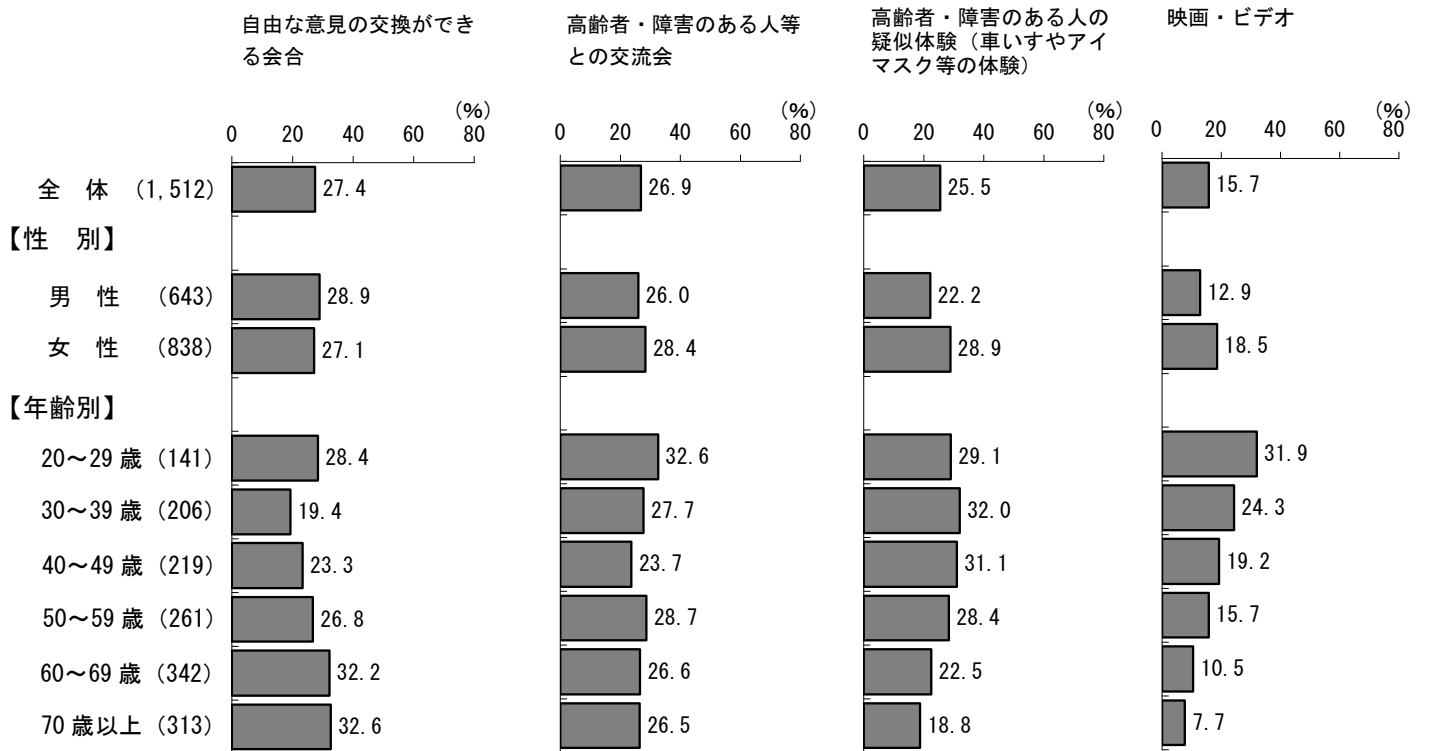
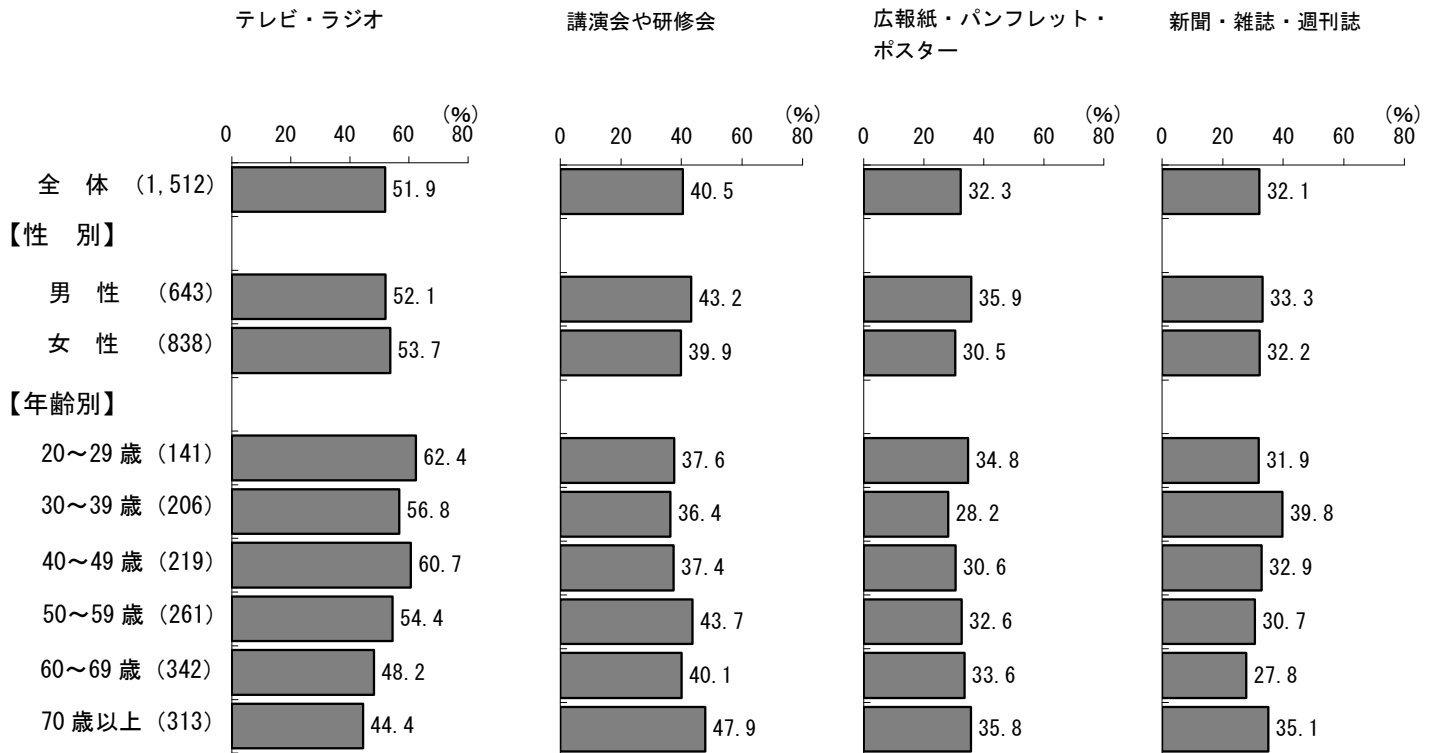
①図 31-1 どのような啓発活動が効果的と思うか【全体】

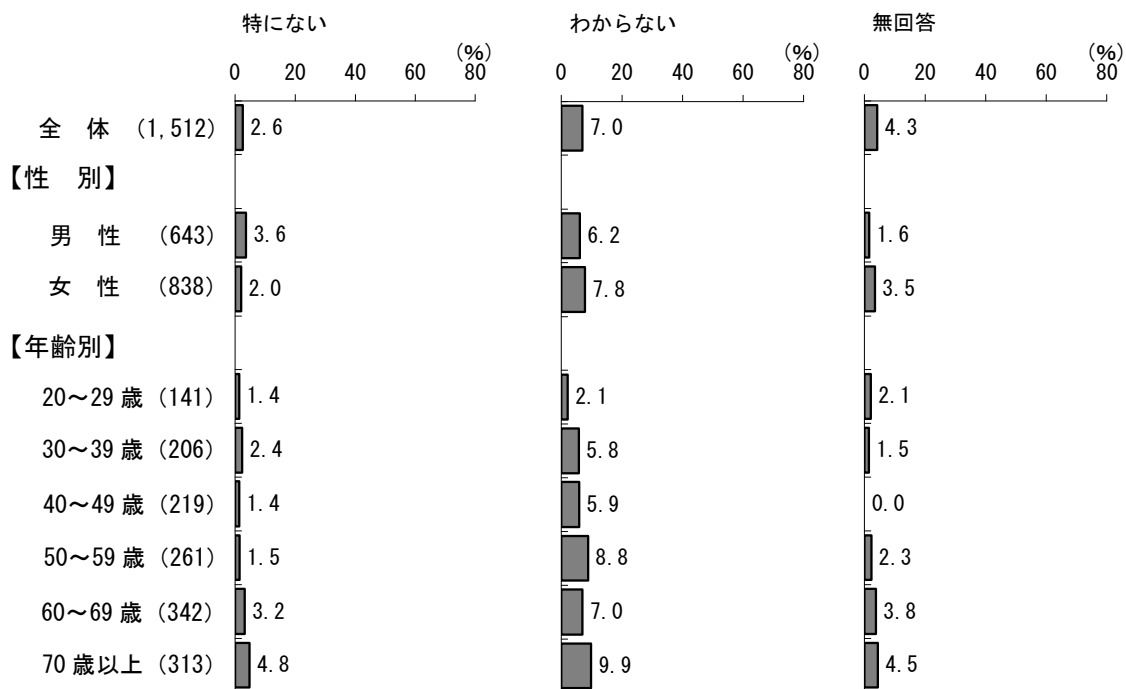
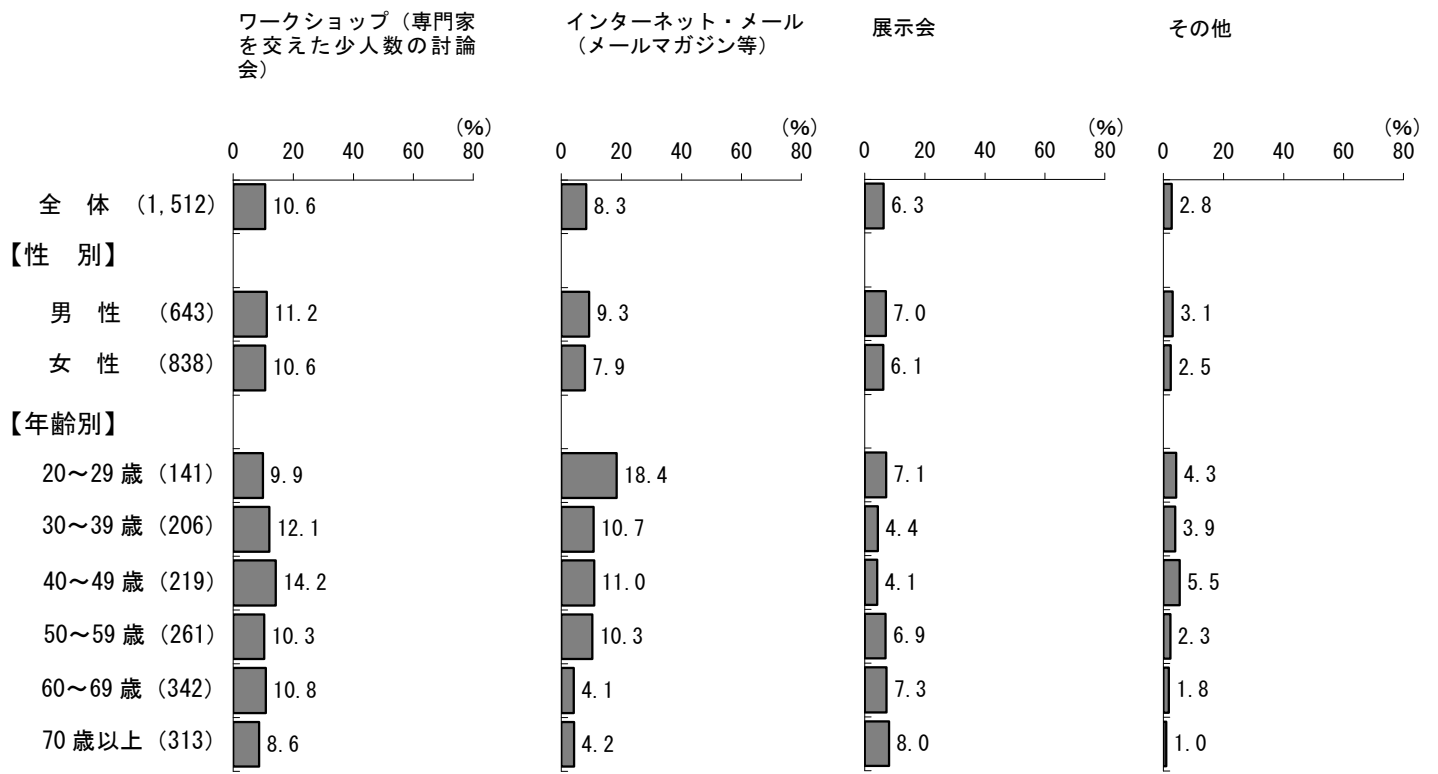


効果的な啓発活動について、「テレビ・ラジオ」が5割、「講演会や研修会」が4割

どのような啓発活動が効果的と思うかについて、「テレビ・ラジオ」と回答した人の割合が51.9%と最も高く、次いで「講演会や研修会」(40.5%)の順となっている。

②図 31-2 どのような啓発活動が効果的と思うか【性別・年齢別】





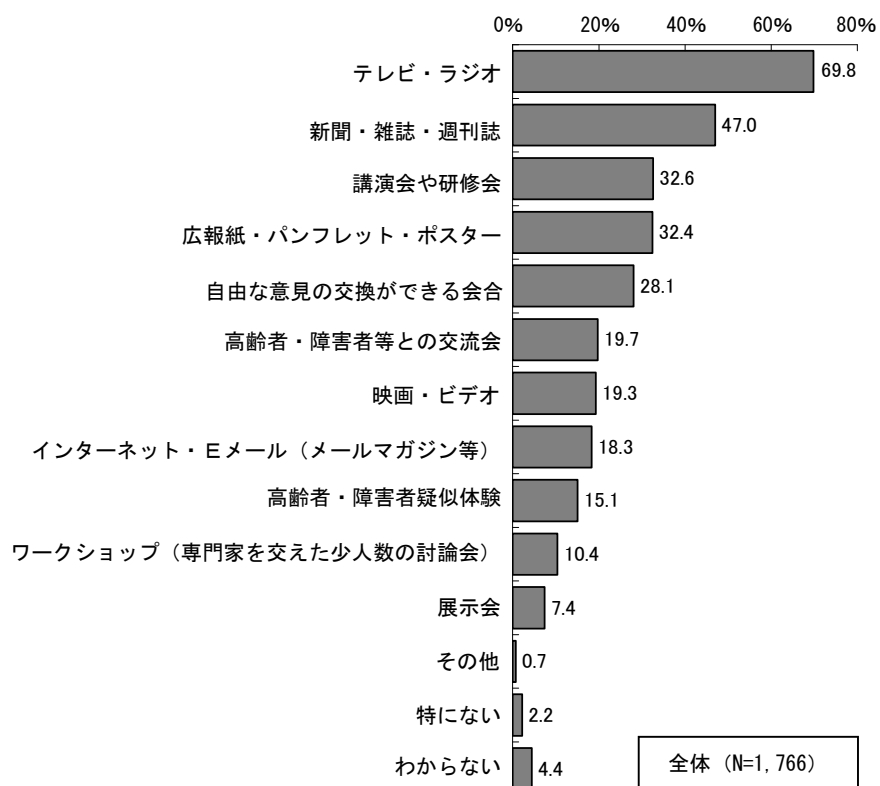
年齢別で比較すると、「テレビ・ラジオ」では20~59歳で回答した人の割合が5割を超え高くなっている。



【参考】全国調査（平成19年6月 内閣府 人権擁護に関する世論調査）

＜どのような啓発活動が効果的と思うか＞

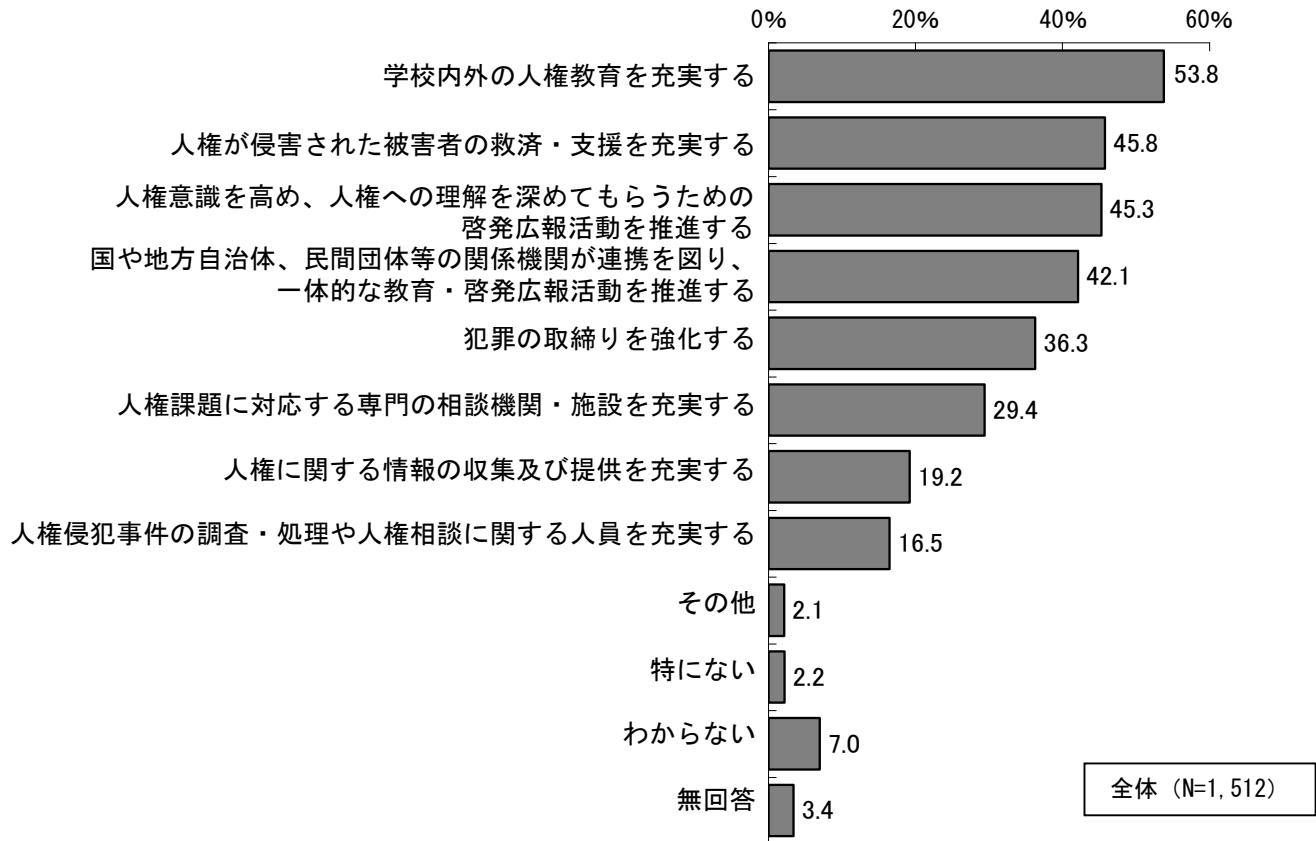
問20 あなたは、人権啓発を推進するためには、国民に対してどのような啓発広報活動が効果的であると思いますか。この中からいくつでもあげてください。



## (2) 人権課題の解決のための方策

問 27 あなたは、今後、県は、これらの人権課題の解決に向けて、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。(✓はいくつでも)

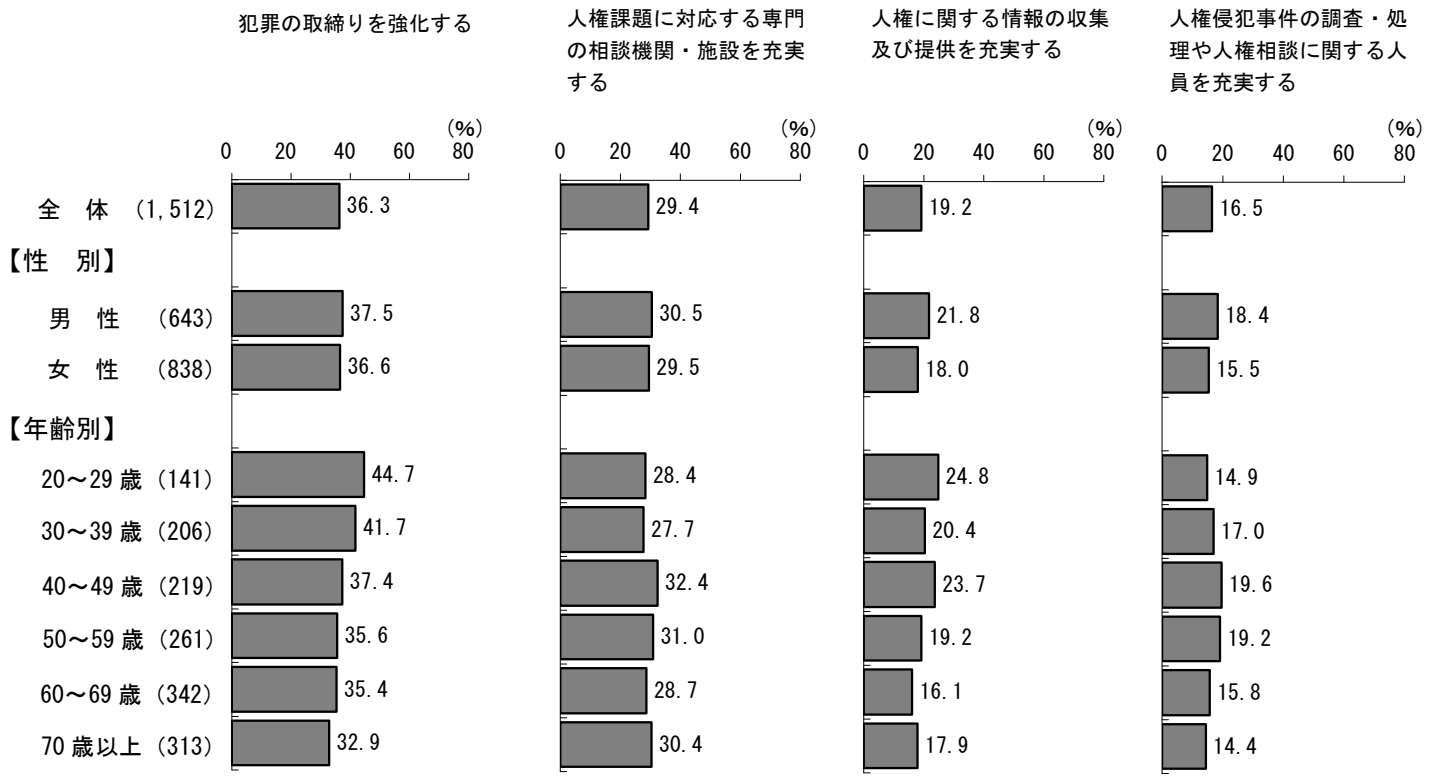
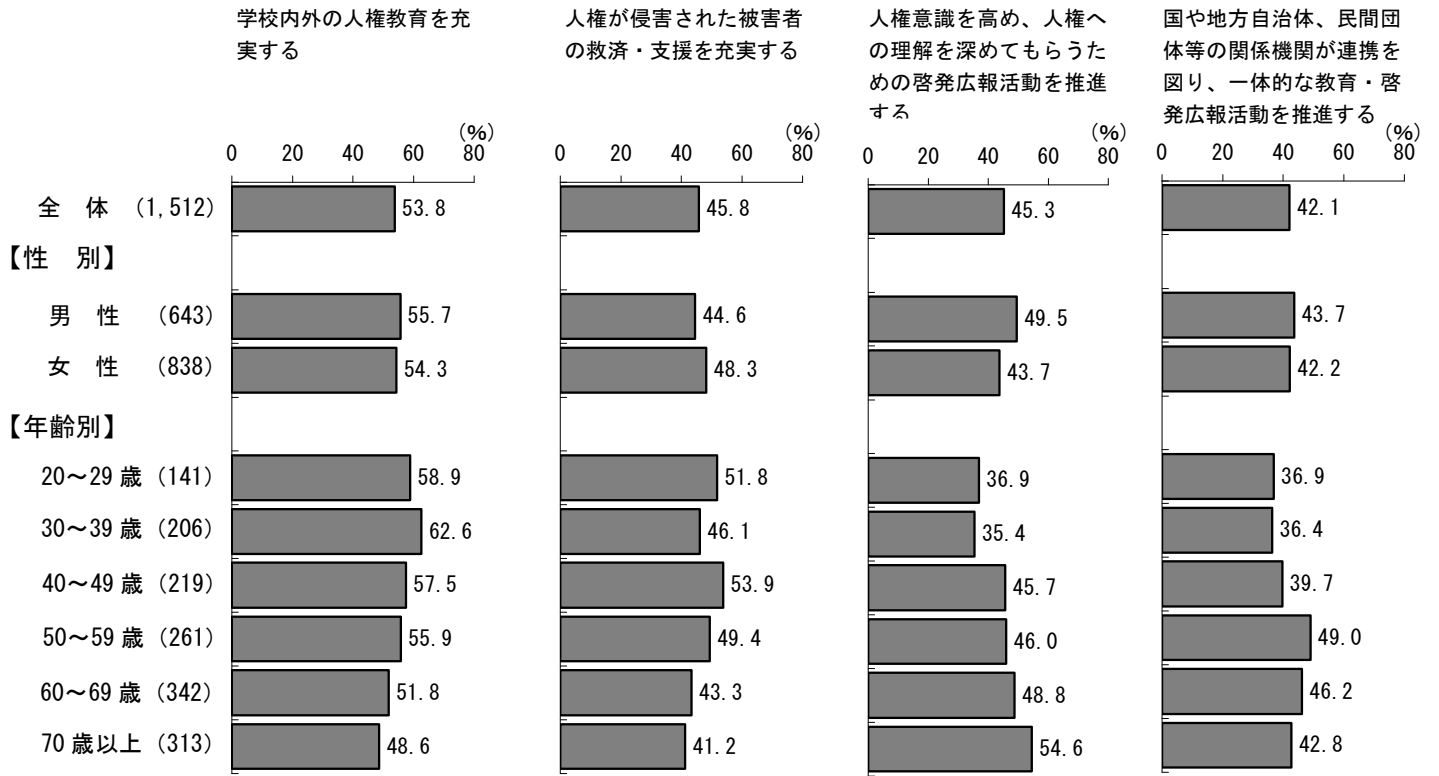
①図 32-1 人権課題の解決のための方策【全体】

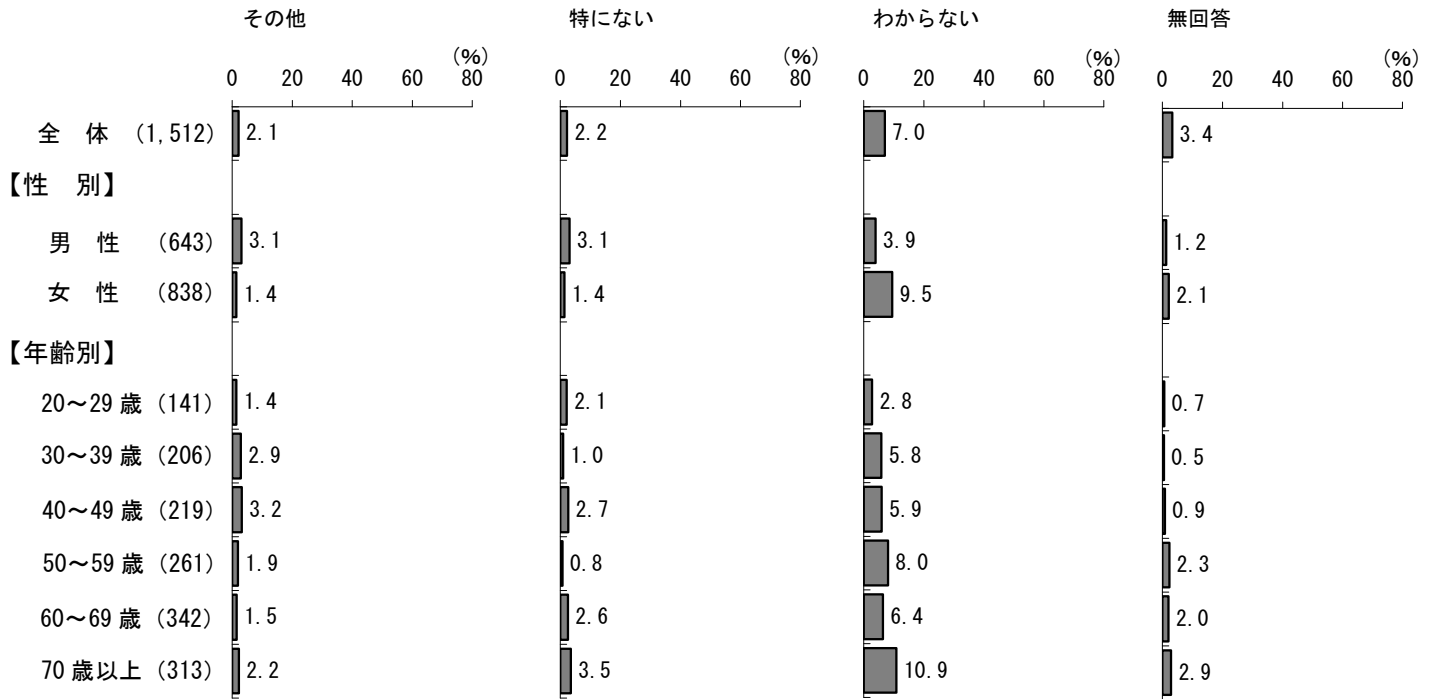


人権課題の解決のための方策について、「学校内外の人権教育を充実する」、「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」、「人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する」の3つが5割

人権課題の解決のための方策について、「学校内外の人権教育を充実する」と回答した人の割合が53.8%と最も高く、次いで「人権が侵害された被害者の救済・支援を充実する」(45.8%)、「人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動を推進する」(45.3%)の順となっている。

②図 32-2 人権課題の解決のための方策【性別・年齢別】





年齢別で比較すると、「学校内外の人権教育を充実する」、「犯罪の取締りを強化する」と回答した人の割合は、年齢が低くなるにつれて高くなる傾向にある。

【参考】全国調査（平成19年6月 内閣府 人権擁護に関する世論調査）

＜人権課題の解決のための方策＞

問21 あなたは、今後、国は、これらの人権課題の解決に向けて、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。この中からいくつでもあげてください。

